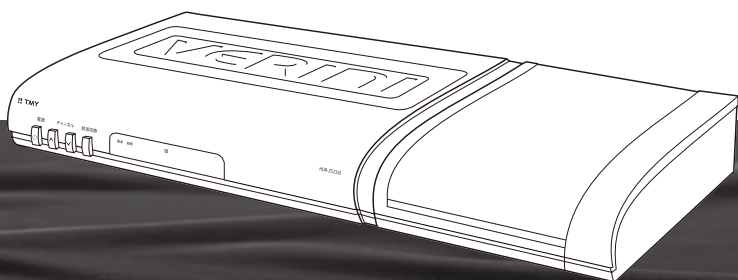
# VERINI

地デジ /BS/CS デジタルハイビジョン ハードディスクレコーダー

# HDR-ZS232E

## 取扱説明書

はじめに

機器の準備・接続

デジタル放送の視聴・録画

付録

# セットアップのながれ

■内容物の確認

P.11 参照

■ B-CAS（ビーキャス）カードをセットする

P.18 参照

■アンテナに接続する

P.19 参照

■テレビに接続する

P.20 参照

■初期設定をする

P.23 参照

# 本書の使い方

本書をご活用していただく上での表記事項の説明をします。

## 表記上の約束

●注意マーク・・・・ ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱い時に注意すべき事項です。

●次へマーク・・・・ ➔次へ に続くページは、次にどのページへ進めばよいかを示しています。

●参考マーク・・・・ ➔参考 に続くページは、関連する情報の記載があるページを示しています。

## 文中の用語表記

文中［　　］や〔　〕で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタンなどの名称を表しています。

## 使用上のお願いとご注意

～ 最初に必ずお読みください ～

■本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などをおこなうことは禁じられております。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。
お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破損に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 使用上のお願いとご注意　つづき

### 取り扱いについて

・本機をご使用中は製品本体で熱くなる部分がありますのでご注意ください。

・本機を運ぶときは衝撃や振動を与えないでください。

・本機に殺虫剤やアルコール系清掃剤など揮発性の物をかけないでください。

・本機にゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質や剥離等が起きることがあります。

・電源プラグは非常時 / 長時間ご使用にならないとき以外は番組情報等を取得するために常時コンセントへ接続しておいてください。

・本機の近くに磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータなどが損なわれる可能性があります。

### 録画について

・本機に内蔵されているハードディスク（以下・HDD）や USB で接続する外部記録メディア（HDD、USB フラッシュメモリ等）に録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。

・著作権保護のため本機で録画した番組（以下・録画データ）は移動（ムーブ）や複製（コピー）をすることはできません。

・本機で録画した番組は、本機でのみ視聴することができます。同機種でも視聴できません。

・本機の故障などの理由により修理や交換をした場合には、すでに録画していた録画データが視聴できなくなることがありますのでご了承ください。

・本機を購入されたお客様が録画した番組については、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。録画したものを個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲で楽しむ以外に権利者の許諾なく複製・改変したり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。

　○録画した番組を自分のホームページに載せる。

　○録画した番組をメールなどで他人へ送る。

　○録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸す。

・著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。

### 本機を廃棄または他の人に譲渡するとき

・設定から初期化を行い、個人情報を初期化することをおすすめします。

・B-CAS（ビーキャス）カードの登録廃止、登録名義変更などについては
㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにお問い合わせください。
お問い合わせ :B-CAS カードカスタマーセンター　TEL0570-000-250

B-CAS カードは株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。本製品の修理をご依頼いただく際は、製品と一緒に付属の B-CAS カードも弊社サポートセンターへお送りください。

### 免責事項について

・地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

・取扱説明書や保証書の記載を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

・録画や録音機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容または変化や消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

・他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能誤動作などから生じた損害（接続したテレビや外部録画メディアなどの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

・誤操作や静電気などのノイズによって本機によって記録されたデータなどが変化や消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。

・故障や修理のときに本機へ記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化、消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。

## たいせつなお知らせ

記録メディア（ハードディスクや USB フラッシュメモリー等）について

・本製品で使用できる HDD ハードディスクや USB フラッシュメモリー等は、DVD ディスク等と違い半永久的に使用 / 保存できる記録メディアではありません。
録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。ディスクなどへ恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合には、複製コピーや移動ムーブができる CPRM 対応・録画チューナーの使用をお勧めします。
・物理的な衝撃（落下、重量物を本製品にぶつけるなど）を与えないでください。
・テレビや棚の上、揺れる場所など不安定な場所で使用しないでください。
・分解や変形させないでください。
・磁気を近づけないでください。
・電磁波が出ていると思われる場所の付近で使用しないでください。
・高温になる場所（自動車内、直射日光の当たる窓際など）で使用や放置をしないでください。
内蔵 HDD についても高温になる場所で使用すると故障の原因となりますので、本製品は風通しの良い場所へ設置してお使いください。
・USB ハブを使用して複数の記録メディアを接続する場合には、必ず AC 電源供給型の USB ハブを使用してください。電源供給の無い USB ハブを使用した場合は、登録 / フォーマットができない、常に録画 / 再生ができない、記録メディアや録画番組の再生 / 録画の異常や破損などの症状が起きる可能性があります。
・本製品で録画した番組は、本製品でのみ使用できます。
・移動（ムーブ）や複製（コピー）をすることはできません。
・当社で販売している他製品であっても、本製品で録画した番組を視聴することはできません。
・録画した番組はお客様個人でお楽しみください。営利目的で使用しないでください。
・お客様の使用方法において著作権法を違反した場合、当社は一切の責任を負いません。
・ハードディスクや USB フラッシュメモリなどの記録メディアが物理的に故障したり内部データが損傷することで録画した番組が視聴できなくなっても、当社は一切の責任を負いません。
・本製品に内蔵されているハードディスクについては製品保証の適用範囲内ですが、お客様が交換したハードディスクが故障や破損などをした場合、当社は一切の責任を負いません。

アナログ放送について

・本機はアナログ放送（地上 / 衛星 /CATV 放送）については一部地域にて視聴できない場合があります。

HDMI 連動機能について

・本機とテレビ等を HDMI で接続することで一部連動動作ができることがありますが、その動作については保証致しかねます。

取扱説明書の記載について

・記載されている内容は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。
画面表示については実際の画面をご確認ください。
・記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

放送、通信サービスについて

・放送や通信サービスは予告なしに放送事業や通信事業などによって一時的に中断されたり、内容が変更されたり、サービス自体が終了される場合がありますので予めご了承ください。

緊急警報放送（EWS）について

・緊急警報放送（EWS）とは、災害をいち早く知らせるための放送です。
地震や津波などの災害時に、放送波に特殊な信号を割り込ませることでテレビ / ラジオなどの受信機から警報音（ピロピロという音）を発し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせる放送です。
・人命や財産に重大な影響のある次の 3 つの場合に限って放送されます。
　1）大規模地震など災害についての警戒宣言が発せられた場合
　2）津波警報が発せられた場合
　3）地方自治体の長から避難命令などの放送の要請があった場合
・本機は地震や津波などの災害発生時に発信される緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。
・緊急警報放送を受信することによる本機の自動起動には対応しておりません。
・米軍基地周辺の AFN（米軍放送）の緊急告知放送には対応しておりません。

# 制 限 事 項

本製品には以下の制限事項があります。

■本製品は、デジタル放送に対応していますが双方向サービスには対応しておりません。

■製品本体と AC アダプターからの放熱について
本製品を使用中に本体表面に触れると熱く感じますが使用上の問題はありません。製品本体から放熱する構造となっていますので、設置には次の事項に注意してください。
・本製品の上に物をのせないでください。
・本製品の周囲には通気に必要なスペースを十分にあけてください。
・熱を溜めるような状況（棚の中､絨毯の上､布カバーを使用等）で使用しないでください。
十分な放熱ができない場合は・変形・破損・故障・発煙・発火などのおそれがあります。

■本製品を使用して録画する場合、次の制限があります。
・番組の録画データは、著作権保護のために暗号化されています。録画に使用した本体と記録メディア（ハードディスク、USB フラッシュメモリ等）でのみ再生が可能です。
・違う番組を同じ時間だけ録画しても、それぞれの放送番組の画質の違いからハードディスク容量が変化することがあります。
・著作権保護のために画質を変更して録画することはできません。
・字幕放送の字幕録画には対応していません。
・番組によっては再生時に音声の切り換え（主／副音声）ができないことがあります。
・視聴契約期間外の衛星放送（CS 有料放送など）は録画できません。予約を行う場合は、契約期間などの確認をしてください。
・台風や豪雪などの気候で受信が不安定な状況では、録画をするために十分な映像 / 音声データが取得できず、録画ができない / 録画が中断される場合があります。
・ハードディスクは電源供給形（AC アダプター付きのもの）をご使用ください。
・複数の記録メディアを接続するための USB ハブは電源供給形（AC アダプター付きのもの）をご使用ください。電源供給の無いまま複数のハードディスクを接続すると､記録メディアを制御するための電力が足りなくなることで機能 / 認識しなくなる可能性があります。
・USB フラッシュメモリを用いて録画している場合、タイムシフト機能において画像停止などの症状が表れますが不具合ではありません。
・USB ハブを用いて複数台の記録メディアを接続すると、フォーマットが出来ないなどの症状が表れますが不具合ではありません。その場合は接続している記録メディアを減らしてご使用ください。

■当社で販売しているテレビと他社製テレビにおいて、一部の操作に制限があります。
1）マルチリモコン機能で操作ができない当社製液晶テレビ
・ISTV-22K　・ISTV-22W

2）マルチリモコン機能で入力切換の操作ができない（電源、音量、消音は動作します）
・TLD-15Gxxxx　・TLD-16Gxxxx　・TLD-19Gxxxx　・TLD-26Gxxxx
・TLD-19D1300B　・TH-19HOTxxT　xxxx は機種により異なる英数字を示します。
・入力切換ボタンと他ボタン（方向キーなど）を組み合わせて入力切換をおこなう一部の他社製テレビ

# 安全上のご注意

お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい重要な内容を記載しています。

本文を必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。

データの消失・破損または、本書に記載した注意事項を守らずに生じた本製品の故障・トラブルは、いかなる場合においても弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

## 表示と絵記号の説明

### ●警告表示の意味

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 「取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷※1を負うことが想定されること」を示します。 |
| ⚠注意 | 「取り扱いを誤った場合、人が軽傷※2を負うことが想定されたり、物的損害※3の発生が想定されること」を示します。 |

※1.重　　傷：失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2.軽　　傷：治療に入院や長期の通院を必要としない、けが、やけど、感電などをさします。

※3.物的損害：家屋・家財およびペットなどにかかわる拡大損害をさします。

### ●絵記号の意味　△⊘●の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

| | |
|---|---|
| △ | 注意を示します。（例：⚠感電注意） |
| ⊘ | 禁止 ( してはいけないこと ) を示します。（例：⊘分解禁止） |
| ● | しなければならない行為を示します。<br>（例：● AC アダプターをコンセントから抜く） |

# ⚠警告

| | |
|---|---|
|  注意 | 本製品の取り付け時や使用する際には、必ず周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。 |
|  分解禁止 | 本製品の分解・改造・修理をしないでください。<br>火災・感電・故障の原因となります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。 |
|  禁止 | AC100V（50/60Hz）以外のコンセントには、AC アダプターを絶対に差し込まないでください。<br>火災・感電・故障の原因となります。 |
|  注意 | AC アダプターは、コンセントに完全に差し込んでください。<br>差し込みが不完全だと、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。 |
|  禁止 | 電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。<br>火災・感電・故障の原因となります。<br>・設置時に配線を壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。<br>・重いものをのせたり、引っ張ったり、極端に折り曲げたりしないでください。<br>・温度の高い場所に置かないでください。熱器具を近付けたり、加熱しないでください。<br>・電源から AC アダプター抜くときは、必ず AC アダプターを持って抜いてください。<br>・AC アダプターを接続したまま機器を移動しないでください。<br>・熱による変形、発煙、発火の恐れのある場所に設置しないでください。<br>万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。 |
|  注意 | 本製品の内部や AC アダプターなどのケーブル類、端子などに小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。<br>感電・ケガ・故障の原因となります。 |
|   禁止 | 濡れた手で触れないでください。<br>感電・故障の原因となります。 |
|  電源プラグを抜く | 煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから AC アダプターを抜いてください。<br>火災・感電・ケガ・故障の原因となります。 |

# ⚠ 警告

| | |
|---|---|
| <br>水場での使用禁止 | 風呂場など水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。<br>感電・故障の原因となります。 |
| <br>電源プラグを抜く | 落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。<br>与えてしまった場合はすぐにコンセントから AC アダプターを抜いてください。<br>そのまま使用を続けると、火災・感電・故障の原因となります。 |
| <br>電源プラグを抜く | 液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。<br>液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから AC アダプターを抜いてください。<br>そのまま使用を続けると、火災・感電・故障の原因となります。 |
| <br>禁 止 | 熱変形・発煙・発火の恐れがあるものの近くで使用しないでください。<br>製品本体と AC アダプターは通電することで発熱します。熱がこもるような棚の中での使用や、絨毯・ラグマットの上、埃塵が堆積するような環境、カーテンの近くなどで使用すると本体や AC アダプター周辺で放熱できずに通常以上の発熱が起こります。そのまま使用を続けると、本体・AC アダプターや周辺の熱変形、発煙、火災、故障の原因となります。 |
| <br>注 意 | AC アダプターは必ず付属のものをお使いください。<br>本製品付属以外のものをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、火災や故障の原因となります。 |
| <br>注 意 | 電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。<br>火災・感電・火傷・ケガ・故障の原因となります。 |

# ⚠注意

| | |
|---|---|
| <br>電源プラグを抜く | 旅行などで長期間使用しないときは、安全のため AC アダプターをコンセントから抜いてください。<br>万が一故障したときに火災・故障の原因となります。 |
| <br>注 意 | ハードディスクやテレビなど周辺機器の取り扱いは、各機器の取扱説明書をよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。 |
| <br>禁 止 | 次の場所には設置しないでください。<br>火災や感電、故障、破損の原因となります。<br>ハードディスクの寿命を縮めたり、故障や破損、録画番組データの損失などの原因となります。<br>• 強い磁界や静電気が発生する場所<br>• 製品に供給する電力が不安定になる場所<br>• 温度、湿度が高い、または結露する場所<br>• ほこりの多い所<br>• 振動のある場所<br>• ぐらつく台の上や傾いたところなど不安定な場所<br>• 直射日光や光などの過激な熱の発生する場所<br>• 火気の周辺、または熱気のこもる場所 |
| <br>禁 止 | 本製品の上に物を置かないでください。<br>傷がついたり、故障・破損の原因となります。 |
| <br>禁 止 | シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。<br>本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、しぼってから拭き取ってください。 |
| <br>禁 止 | アンテナ端子部分には直接触れないでください。<br>使用中はとても熱くなっていますのでケガや火傷、感電故障の原因となります。<br>手垢や埃塵などの汚れが付着すると故障の原因となります。 |
| <br>注 意 | 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。<br>条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。 |

# INDEX 目次

## はじめに



## 機器の準備・接続

## デジタル放送の視聴・録画

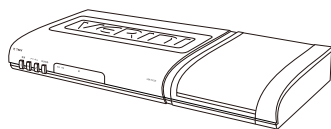


## 付録

# はじめに

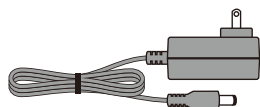
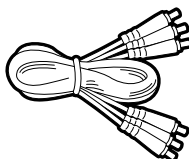
本製品を使用する前にご確認ください。

## パッケージの内容

パッケージには以下のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

TSTB-R50 本体× 1

リモコン× 1

B-CAS カード（赤）× 1

単 4 乾電池× 2
（動作確認用）

AC アダプター× 1

AV ケーブル × 1

取扱説明書（本書）

～保証書～

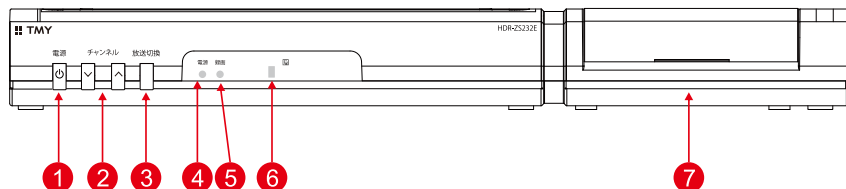
保証書

※付属の乾電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取り換えください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

# 各部の名前と機能

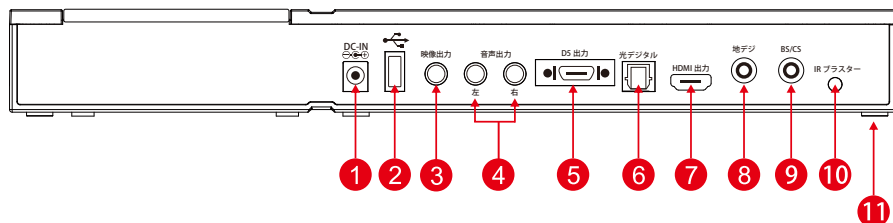
本体およびリモコンの各部の名前と機能を説明します。

## 本体前面

1. 電源ボタン
   電源の入 / 切を行います。
2. チャンネル選局ボタン
   ボタンを押すたびにチャンネルを切り換えます。
   ※ マルチチャンネル放送を受信している場合は、チャンネルボタンを数回押しても同じ番組を表示することがあります。
3. 放送切換ボタン
   ボタンを押すたびに
   〔 地デジ ⇒ BS ⇒ CS 〕
   へ放送が切り換わります。
4. 電源インジケーター
   青 LED 点灯 : 電源が入っている状態
   青 LED 点滅 : リモコン信号受信時
   消灯 : 電源が切れている状態
5. 録画インジケーター
   HDD など録画に関する状態を LED の点灯 / 消灯で表示します。
   左表を参照してください。
6. リモコン信号受光部
7. 録画用内蔵 HDD（カバー内部に設置）

**メモ**

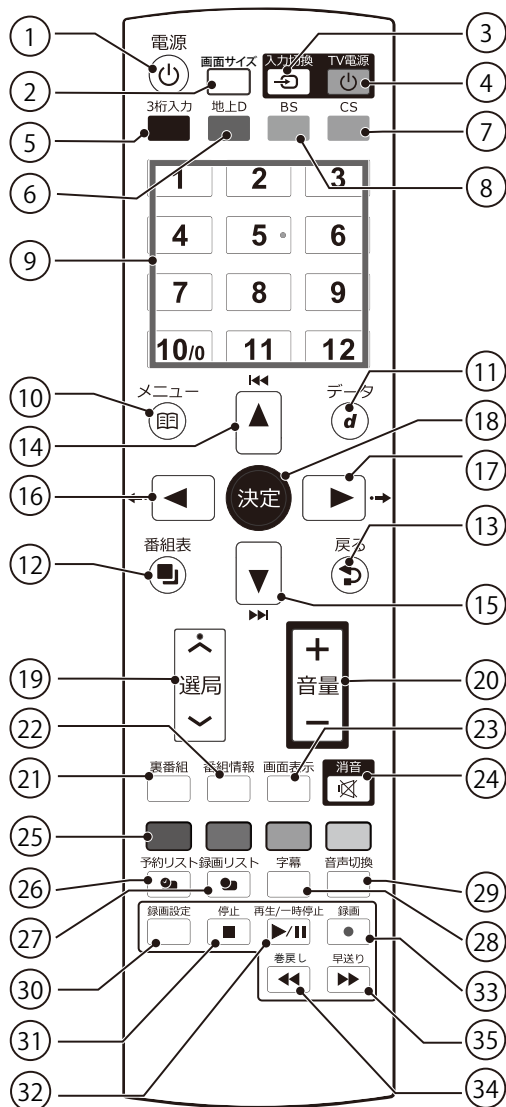
録画インジケーターは、本体の状態によって、色と光り方が変化します。

| 色 | 光り方 | 本製品の状態 |
|---|---|---|
| 緑 | 点灯 | 録画可能な HDD が接続されているとき |
| 赤 | 点灯 | 録画しているとき |
| 橙 | 点灯 | 待機（スタンバイ） |
| 橙 | 点滅 | 内部処理中<br>※電源を切らないように注意してください。 |
| 消灯 | | HDD の接続 / 登録が無いとき |

## 本体背面

1. 電源入力端子
   付属 AC アダプターを接続します。
2. USB 端子（外部 HDD 接続用）
3. コンポジット映像出力端子（黄）
   付属の AV ケーブルの映像端子（黄）を接続します。
4. アナログ音声出力端子（赤・白）
   付属の AV ケーブルの音声端子（赤・白）を接続します。
5. D 映像出力端子
   D 端子ケーブル（別売）を接続します。
6. 光デジタル音声出力端子
   デジタル音声ケーブル（光角形コネクター）（別売）を接続します。
7. HDMI 出力端子
   HDMI ケーブル（別売）を接続することで高画質な映像・音声をお楽しみいただけます。
8. 地上波デジタルアンテナ入力端子
   地上波デジタル放送対応アンテナと接続します。
9. BS/110 度 CS アンテナ入力端子
   BS または 110 度 CS デジタル放送対応のアンテナと接続します。
10. IR ブラスター接続端子
11. 〔底面〕B-CAS カード挿入口

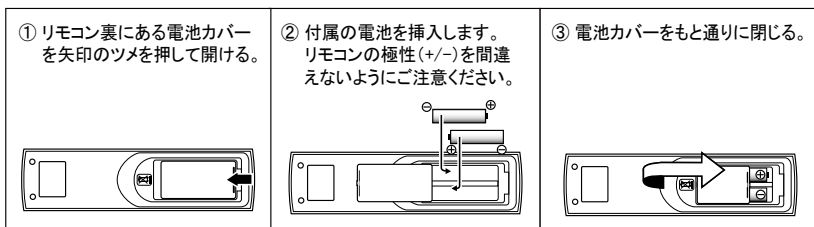
※ 正面からみて左側・底面に B-CAS カード挿入スロットがあります。
※ D 端子は映像信号のみ出力します。音声はアナログ音声出力端子または光デジタル音声出力端子から 接続してください。
※ HDMI 接続をすると音声が出力されない場合があります。その場合は D 端子接続したときと同様に、他音声出力を接続してください。

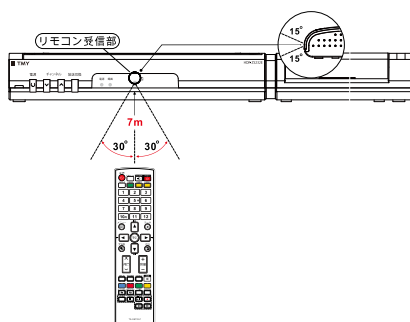
## リモコン

電源
画面サイズ
入力切換
TV電源
3桁入力
地上D
BS
CS
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10/0
11
12
メニュー
データ
決定
番組表
戻る
選局
音量
裏番組
番組情報
画面表示
消音
予約リスト
録画リスト
字幕
音声切換
録画設定
停止
再生/一時停止
録画
巻戻し
早送り

| No. | リモコンボタン | 動作 |
|---|---|---|
| 1 | 電源 | 本機チューナー電源の入 / 切（待機）状態を切り換えます。 |
| 2 | 画面サイズ | 画面サイズを変更します。　参照：P28「アスペクト比」 |
| 3 | TV 入力切換 | マルチリモコンを設定したときにテレビの入力切換を操作します。 |
| 4 | TV 電源 | マルチリモコンを設定したときにテレビの電源を操作します。 |
| 5 | 3 桁入力 | チャンネルを 3 桁の数字で入力して直接選局します。 |
| 6 | 地上デジタル放送 | 地上デジタル放送波に切り換えます。 |
| 7 | CS 放送 | CS 放送波に切り換えます。 |
| 8 | BS 放送 | BS 放送波に切り換えます。 |
| 9 | 数字ボタン | テレビ視聴中はチャンネルを選局 / 変更します。<br>各メニューでは数字入力ボタンとして使用します。 |
| 10 | メニュー | チューナーの各設定メニューを表示します。 |
| 11 | データ放送 | 視聴中チャンネルのデータ放送を表示します。 |
| 12 | 番組表 | 番組表（EPG：最大 7 日間）を表示します。 |
| 13 | 戻る | 設定メニュー画面などで、1 つ前の画面に戻ります。 |
| 14 | ↑：上方向ボタン | カーソルを上へ移動します。<br>録画データ視聴中には前ファイルを選択します。 |
| 15 | ↓：下方向ボタン | カーソルを下へ移動します。<br>録画データ視聴中には次ファイルを選択します。 |
| 16 | ←：左方向ボタン | カーソルを←に移動します。<br>録画データ視聴中には 30 秒先へスキップ再生します。 |
| 17 | →：右方向ボタン | カーソルを右に移動します。<br>録画データ視聴中には 30 秒前へスキップ再生します。 |

| No. | リモコンボタン | 動作 |
|---|---|---|
| 18 | 決定 | カーソルで選択している項目を決定します。 |
| 19 | 選局ボタン | チャンネルを切り換えます。 |
| 20 | TV 音量ボタン | マルチリモコンを設定したときにテレビの音量調整を操作します。 |
| 21 | 裏番組 | 現在放送中の各放送局番組を一覧表示します。 |
| 22 | 番組情報 | 番組情報を表示します。 |
| 23 | 画面表示 | 現在視聴中のチャンネル情報を表示します。 |
| 24 | TV 消音ボタン | マルチリモコンを設定したときにテレビの消音操作をします。 |
| 25 | 青・赤・緑・黄ボタン | 番組表やデータ放送を表示しているときに使用します。 |
| 26 | 予約リスト | 予約した録画情報を一覧で表示します。 |
| 27 | 録画リスト | 録画した番組を表示します。 |
| 28 | 字幕 | 字幕放送時に字幕表示を切り換えることができます。 |
| 29 | 音声切換 | 音声多重放送時に音声を切り換えることができます。 |
| 30 | 録画設定 | 録画するハードディスクの選択や優先順位を設定します。 |
| 31 | 停止 | 録画番組の視聴を停止します。 |
| 32 | 再生 / 一時停止 | 録画番組の一時停止 / 再生をします。 |
| 33 | 録画 | 視聴中の番組を録画します。録画中に再度押すと録画を中断します。 |
| 34 | 巻戻し | 録画番組を視聴中に× 2 ～× 32 倍速で巻戻し再生ができます。 |
| 35 | 早送り | 録画番組を視聴中に× 2 ～× 32 倍速で早送り再生ができます。 |

## リモコンに電池を入れる

| ① リモコン裏にある電池カバーを矢印のツメを押して開ける。 | ② 付属の電池を挿入します。リモコンの極性(+/−)を間違えないようにご注意ください。 | ③ 電池カバーをもと通りに閉じる。 |
|---|---|---|
|  |  |  |

**⚠注意** 単４形アルカリ乾電池を使用してください。
⊕と⊖の向きを確認して、正しく入れてください。
乾電池を交換する場合、２本とも新しい同じ種類のものに交換してください。
長期間使用しない場合は、乾電池を取り外しておいてください。
乾電池が液漏れした場合には、漏れた液に触れないようにしてください。
付属の乾電池は使用確認用ですので、早めに新しい電池に交換してください。
乾電池を入れ換えるとマルチリモコンの設定がリセットされます。

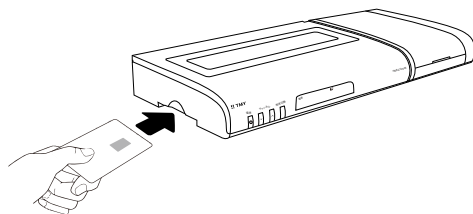
## リモコンの使いかた

- ●リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。
- ●リモコンを使用できる角度は、上下約 15°、左右約 30°です。
- ●リモコンを使用できる距離は、本機正面で約 7m 以内です。
- ●テレビを操作するときは、テレビのリモコン受光部に向けて操作してください。
- ●リモコン受光部に強い光を当てないでください。操作ができなくなる場合があります。
- ●リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- ●リモコンを操作しても反応しなくなった時などは乾電池の寿命が考えられます。
  早めに新しい乾電池と交換してください。

# 機器の準備・接続

本製品を使用するために必要な準備、接続方法について説明します。

## B-CAS カードをセットする

B-CAS カードはデジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。本製品に付属の B-CAS カードをセットする必要があります。

右図のように矢印マークがある面を下に向け、左側面の挿入口に B-CAS カードの IC 部分を上になるようにして、カードを奥までしっかりと挿入してください。

⚠注意 【B-CAS カードの取り扱い上のご注意】

B-CAS カードをセットするときには、表向きや逆方向で挿入しないでください。

挿入方向を間違えると B-CAS カードは機能しません。

また、B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。

本製品ご使用中は、抜き差ししないでください。視聴できなくなることがあります。

- 折曲げたり、傷つけたり、変形させたりしないでください。
- 重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CAS カードの金属端子（IC［集積回路］部）には触れないでください。
- 水をかけたりぬれた手でさわったりしないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- B-CAS カードを抜く場合は、必ず AC アダプターを AC コンセントから抜き、ゆっくりと B-CAS カードを抜いてください。

【B-CAS カード保管の際の注意】

付属の B-CAS カードは、デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。

破損や紛失した場合はただちに下記 B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。

破損や紛失がお客様の原因で発生した場合は、再発行費用が請求されます。

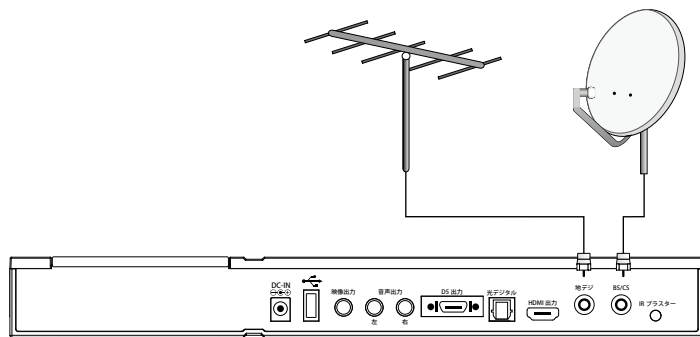
あらかじめご了承ください。

また、第三者がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はお客様に請求されますので保管をする際にはご注意ください。

B-CAS カードについては
B-CAS カードカスタマーセンター（TEL：0570-000-250）にお問い合わせください。

アンテナに接続します。【P.19】

## アンテナに接続する

地上デジタル放送の受信には、UHF 地上デジタル放送対応のアンテナが必要です。BS/CS デジタル放送を受信するためにも対応しているアンテナが必要です。一部調整や取替え、ブースターの追加などが必要な場合もありますので、販売店にご相談ください。

**⚠注意**

- F 型コネクター以外のアンテナケーブルで取り付ける場合、別途変換アダプターをご用意ください。
- すでに地上デジタル放送対応のテレビをご使用の場合は、市販のアンテナ分配器を使用してアンテナ線を分配して接続することで本製品とテレビの両方へ接続する事ができます。
- 家庭内で３～４台以上のテレビを接続している場合には、本製品を追加すると放送電波が減衰してしまい視聴できない場合があります。受信状況が悪い場合はアンテナの交換や増設、ブースターの設置などをお試しください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離して設置してください。他のケーブルからノイズ電波を受信して、受信状況が悪化することで視聴できなくなる場合があります。
- ケーブルテレビをご利用の場合（ケーブルテレビ専用チューナーに接続する場合）、ケーブルテレビがパススルー方式に対応している必要があります。取り付けについてはお住まいの地域のケーブルテレビ会社にご相談ください。
- 共同アンテナを使用されている場合には、地上デジタル放送対応チューナーで視聴可能な地域なのかどうかを共同アンテナ管理者へご確認ください。

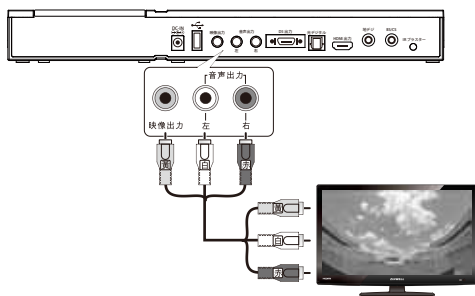
テレビに接続します。【P.20】

# テレビに接続する

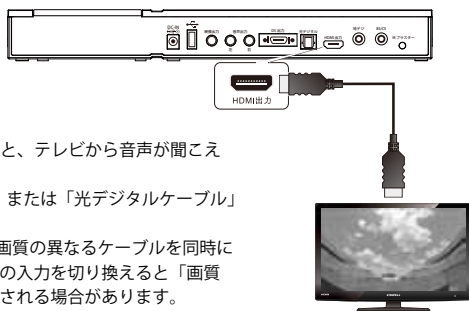
お使いのテレビに各ケーブルを接続することで視聴できるようになります。HDMI 入力端子や D 映像入力端子がある場合には、AV ケーブル接続より高品質な映像をご覧頂く事ができます。

**⚠注意** 複数の映像出力端子を同時に接続して使用することは推奨いたしません。

## AV ケーブルで接続する

付属の AV ケーブルでテレビ（ビデオ映像コンポジット入力端子）と本製品を接続します。（赤）（白）（黄）のそれぞれの端子を本製品の同じ色の端子に差し込んでください。

➔次へ　AC アダプターを接続します。【P.22】

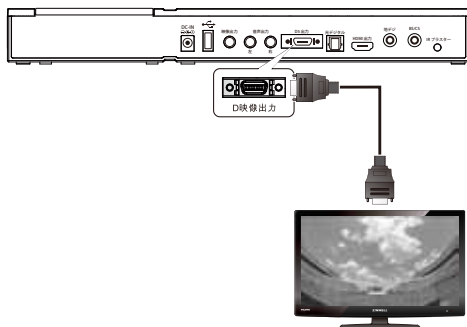
## HDMI ケーブルで接続する

お使いのテレビに HDMI 入力端子がある場合、より高品質な音声 / 映像をご覧頂く事ができます。　※ HDMI ケーブルは別途お買い求めください。

※ HDMI ケーブルで接続すると、テレビから音声が聞こえないことがあります。
その場合は「AV ケーブル」または「光デジタルケーブル」を接続してください。

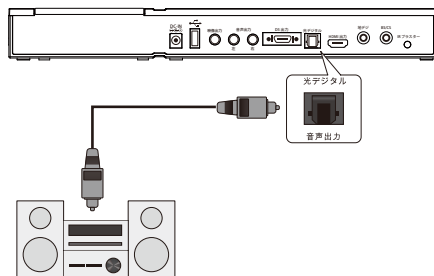
※ AV ケーブルと HDMI など画質の異なるケーブルを同時に接続している場合、テレビの入力を切り換えると「画質を変更しますか？」を表示される場合があります。
特に問題が無ければ、表示に従って画質を変更してから視聴してください。

➔次へ　AC アダプターを接続します。【P.22】

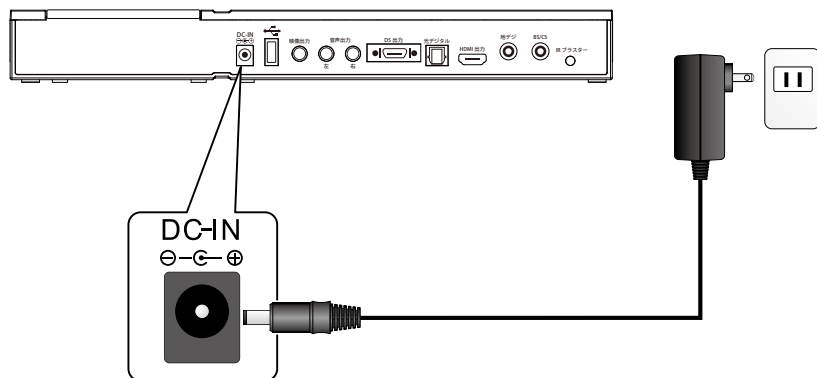
## D 端子ケーブルで接続する

お使いのテレビに D 映像入力端子がある場合、下図を参考に接続してください。
D 端子へ接続するには、D 端子ケーブルと音声出力用にオーディオケーブルが必要になります。オーディオケーブルは付属 AV ケーブルの赤・白端子を使用して接続することもできます。
※ D 端子ケーブルは別途お買い求めください。

音声ケーブルを接続します。【P.20】【P.21】
AC アダプターを接続します。【P.22】

## 音響機器を接続する

市販の光デジタルケーブルで本製品の光デジタル音声出力端子とホームシアターシステムなどを接続して、より高品質な音声を楽しむ事ができます。接続する音響機器がドルビーデジタルに対応している場合には、さらに迫力のある音声を楽しめます。
※光デジタルケーブルは別途お買い求めください。

次へ AC アダプターを接続します。【P.22】

## AC アダプターを接続する

付属の AC アダプターを本製品背面の電源入力端子とコンセントに接続します。

・付属の AC アダプターを使用してください。

・規格の異なる AC アダプターを使用すると破損や故障、事故の原因となります。

・異常が起きた場合にすぐ取り外せるところへ接続・設置してください。

・AC アダプターは発熱します。熱が溜まるような棚の中、部屋の隅、絨毯 / ラグマットの上、埃塵が堆積する状況などで使用しますと、プラグの通電（トラッキング）、本体や周辺の熱による変形、発煙、発火などの危険がありますのでご注意ください。

・複数のコンセントがあるテーブルタップなどへ接続して使用しないでください。他製品のノイズや不安定な電源供給などの負荷により AC アダプターの故障や破損の原因になります。

・大電力を必要とする家電製品（エアコン、冷蔵庫、掃除機、ドライヤーなど）や、ノイズを発する家電製品と同じまたは近くのコンセントで使用しないでください。
視聴が困難になったり、故障の原因になります。

初期設定をします。【P.23】

## 初期設定をする

本製品を使用して視聴するための初期設定をおこないます。

**⚠注意** 初期設定時には、本製品の USB 端子へハードディスク等の機器を接続しないでください。
本書に掲載されている画面は表示例です。使用環境によって表示は異なります。

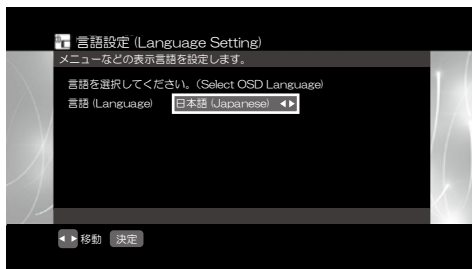
### 1

「機器の準備・接続【P.18】」を参照していただき、B-CAS カードの挿入、アンテナ線、テレビへの入力ケーブル、AC アダプターなどの各接続を行ってください。
リモコンへ乾電池を入れて、リモコン操作ができるようにしてください。

### 2

テレビの電源を入れ、テレビの [ 入力切換 ] ボタンや [ ビデオ ] ボタンを押して
テレビの入力切換を行い、本製品が接続されている入力に切り換えてください。

### 3

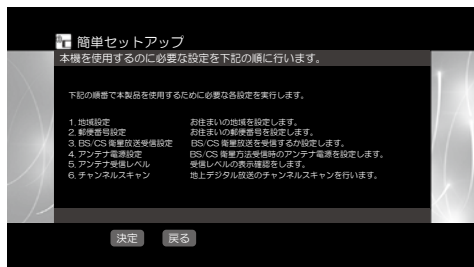
リモコンまたは本体の電源ボタンを押して、電源ランプが青色に点灯したことを確認します。
初めて電源を入れた場合と機器設定にて初期化した場合は、右図の〔言語設定〕画面が表示されます。
左右ボタンで言語を選択して、決定 ボタンを押します。

参考 言語の設定【P.29】

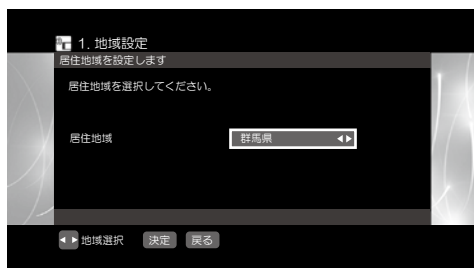
### 4

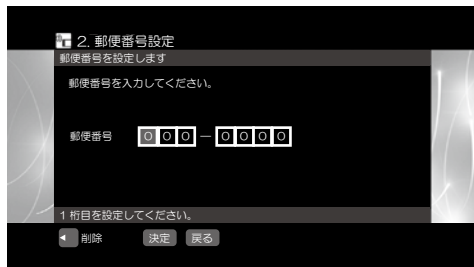
接続しているテレビ画面の比率を設定します。
リモコンの ▲▼◀▶ を押して、16:9（ワイド）または 4:3（ノーマル）を選択してリモコンの 決定 ボタンを押します。

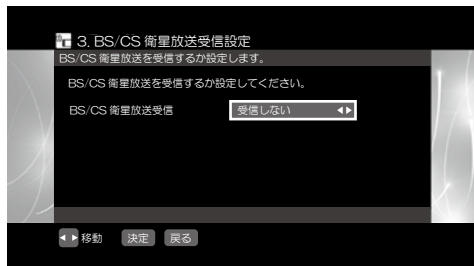
参考 画面比率の変更【P.28】

## 5

簡単セットアップ画面が表示されます。1～6の設定を行うことでチャンネル設定を済ませてテレビが視聴可能になります。確認をしましたら、リモコンの決定ボタンを押してください。

## 6

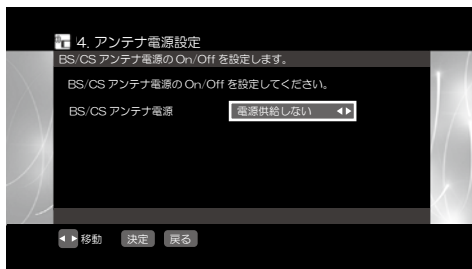
現在お住まいの地域を設定します。左右ボタンを押して選択してください。もし相当する地域が無い場合は、近隣の住所を選択してください。決まりましたらリモコンの決定ボタンを押してください。

## 7

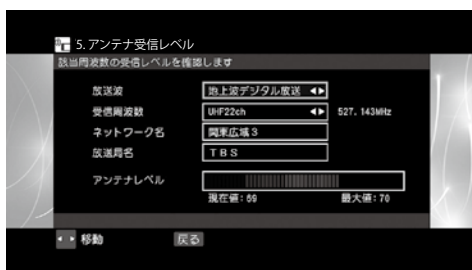
郵便番号を設定します。郵便番号からお住まいの地域のチャンネルをリモコンへ割り当てます。設定が終りましたらリモコンの決定 ボタンを押してください。

## 8

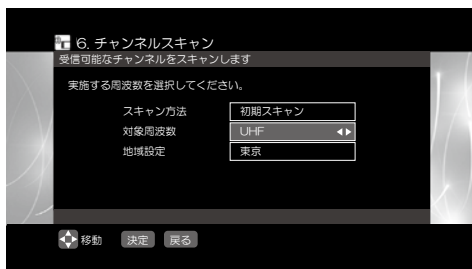
BS/CS 衛星放送の受信を設定します。左右ボタンで「受信しない」「受信する」を選択してリモコンの決定 ボタンを押してください。



初期設定をする つづき【P.25】

## 9

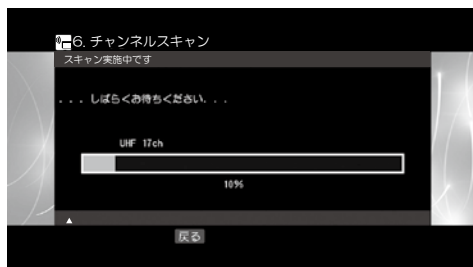
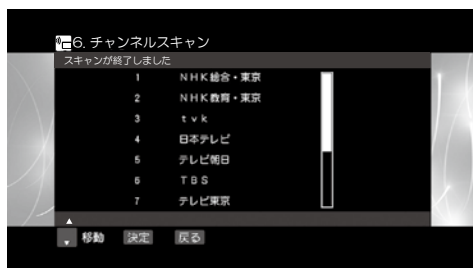
BS/CSを「受信する」に設定した場合は、アンテナ電源を設定します。アンテナに電源が無い場合は「電源供給する」を、アンテナ自体に電源供給装置がある場合は「電源供給しない」をリモコンの左右ボタン［▲▼◀▶］で選択して［決定］ボタンを押してください。

## 10

アンテナ受信レベルの画面が表示されます。ここでリモコンの方向ボタン［▲▼◀▶］を押すことで各放送波・受信周波数の現在の受信レベルが参考表示されます。［決定］を押すと次の設定画面が表示されます。

## 11

チャンネルスキャンを行います。リモコンの方向ボタンで「対象周波数」と「地域設定」を選択してください。地域設定はお住まいの地域を選択していただきますが、もし見つからない場合は最寄の地域を選択してください。［決定］ボタンを押すとチャンネルスキャンが開始されます。多少時間がかかりますが、更新されるまで、そのままお待ちください。

**⚠注意** ケーブルテレビをご利用の方は、対象周波数を全周波数に設定してください。

⑫

本製品が自動でスキャンをはじめますのでしばらくお待ちください。

⑬

スキャンが完了すると、ご利用地域で受信出来るチャンネルの一覧が表示されます。正しくスキャンがおこなわれたことを確認し、リモコンの[決定]ボタンを押します。
設定終了したことが画面に表示されますので再度[決定]ボタンを押してください。

これで初期設定は終了です。
「簡単セットアップの設定が終了しました」という画面が表示されます。
このときにテレビ画像 / 音声が聞こえることがありますが、そのままリモコンの[決定]ボタンを押すと、テレビの視聴画面に切り換わります。
また、リモコンのチャンネルボタンには視聴可能なチャンネルがすでに設定されていますので、ご利用地域の放送局が視聴できるかをご確認ください。

注意）各項目では「戻る」ボタンを押すことで、1 つ前の設定項目をやり直すことができます。チャンネルスキャン終了直後に「戻る」ボタンを押すとチャンネルが本機に設定されません。チャンネルスキャン後は必ず決定ボタンを押してチャンネル設定を済ませてください。

※ 続けて「未登録 HDD を検出しました。登録しますか？」と表示された場合には、【P.43】「ハードディスクを管理する」をご覧ください。

リモコンのボタンを確認する【P.14】
デジタル放送の視聴【P.31】
その他の設定【P.27】

# 各機能の設定をする

メニューボタンからリモコン、画面表示、機器情報などに関する設定をおこないます。
お使いの環境で必要に応じて設定をしてください。

## チャンネル設定

放送波の受信に関する設定やリモコンの数字ボタンに割り当てられているチャンネルの各種設定等を変更できます。方向ボタン・決定ボタン・数字ボタン・戻るボタンを使用して設定ください。

| 項　目 | 設定内容 | 選択項目・操作方法 |
|---|---|---|
| 受信レベル | 現在視聴しているチャンネルの受信レベルを表示します。<br>放送波を左右ボタンで「地上波デジタル放送」「衛星デジタル放送」「CS デジタル放送」を切り換えて確認できます。<br>受信周波数を左右ボタンで切り換えると他チャンネルの受信レベルを確認できます。 | 放送波：地上デジタル放送<br>衛星デジタル放送（BS）<br>CS デジタル放送<br>受信周波数：<br>地デジ VHF1 ～ 12ch、UHF13 ～ 62ch、<br>CATV63ch~<br>BS000ch ～ 999ch　CS000ch ～ 999ch |
| チャンネル<br>スキャン | 視聴可能なチャンネルをスキャン（検索）します。<br>引越しなどで使用する地域が変更になった場合などは「初期スキャン」を、チャンネルを追加する場合は「再スキャン」を選択してください。 | スキャン方法：初期スキャン<br>再スキャン<br>・スキャン方法を選択後に決定ボタンを押すとスキャンを開始します。<br>・スキャンの終了後に決定ボタンを押してチャンネルを設定してください。 |
| チャンネル<br>スキップ設定 | 選局ボタンや数字（チャンネル）ボタンで、視聴しないようにスキップするように設定できます。<br>放送波を選択すると視聴可能なチャンネルが一覧で表示されます。チャンネルを選択し、受信（視聴）/ スキップを設定してください。<br>決定ボタンで設定を終了してください。 | 放送波：地上デジタル、<br>BS デジタル、CS デジタル<br>・上下ボタンで「放送局名」を選択する。<br>・左右ボタンで選択した放送局を「受信」または「スキップ」を選択 / 設定する。<br>・設定終了後に決定ボタンを押してください。 |
| リモコン設定 | リモコンの数字ボタンを押したときの放送局を設定できます。<br>放送波を選択すると視聴可能なチャンネルが一覧で表示されます。チャンネルを選択し、数字ボタンを設定してください。<br>決定ボタンで設定を終了してください。 | 放送波：地上デジタル、<br>BS デジタル、CS デジタル<br>・上下ボタンで「放送局名」を選択する。<br>・設定したいリモコンの数字ボタンを押してください。<br>・設定終了後に決定ボタンを押してください。 |
| 郵便番号設定 | チャンネルスキャンに必要な郵便番号を設定します。数字ボタンを使用して現在お住まいの地域の郵便番号を入力してください。 | ・郵便番号を数字ボタンで入力してください。（7 桁）<br>・左ボタンを押すことでカーソルが左に動き、入力している数字を 0 に戻します。<br>・設定終了後に決定ボタンを押してください。 |

| 項　目 | 設定内容 | 選択項目・操作方法 |
|---|---|---|
| 地域設定 | 本機を使用する居住地域の設定をします。<br>都道府県の順番が取扱説明書に記載している地上デジタル放送チャンネル一覧とは異なります。<br>もしお住まいの地域が無い場合は、近隣の地域を選択してください。 | ・左右ボタンで近隣の地域を選択してください。<br>・設定終了後に決定ボタンを押してください。 |
| 簡易初期設定 | 本機の「初期設定」を実行します | 【P.23】[ 初期設定をする ] を参照ください。 |

※受信レベルはプログレッシブバーと呼ばれるグラフで簡易表示されています。目安として表示されていますが、おおむね３０％以下になると視聴が困難な状況と言えます。
※チャンネルスキップ設定にて、全てスキップに設定するとリモコンの選局ボタンや本体のチャンネルボタンで放送局を切り換えることができなくなります。
※チャンネルスキップ設定とリモコン設定は、簡易初期設定を実行することで元の状態に戻ります。
簡易初期設定などを行っているときに戻るボタンを使い途中でやめると・数字ボタンでチャンネルが切り換わらない・放送が視聴できなくなるなどの症状が表れる場合があります。
初期設定やチャンネルスキャンは設定終了まで確実に実行してください。

## 画質設定

画面表示に関する設定を変更できます。
方向ボタン・決定ボタン・数字ボタン・戻るボタンを使用して設定ください。

| 項　目 | 設定内容 | 選択項目・操作方法 |
|---|---|---|
| 字幕表示設定 | 字幕放送をしている番組を視聴したときに字幕を画面に表示 / 非表示の設定ができます。<br>字幕が無い放送では適用されません。 | ・上下ボタンを使用して「表示しない」「日本語」「英語」から選択してください。<br>・設定終了後に決定ボタンを押してください。 |
| 文字スーパー | 文字スーパー放送を受信したときに、文字スーパーの表示 / 非表示の設定をします。 | ・上下ボタンを使用して「表示しない」「日本語」「英語」から選択してください。<br>・設定終了後に決定ボタンを押してください。 |
| テレビ画面形状 | 使用するテレビに合わせて画面比率を変更することができます。<br>ここで設定しても変化が無い場合は、接続しているテレビの設定を変更してください。 | ・4：3 アナログ放送時の画面比率です。視聴している画面が縦長に見えるときに選択してください。<br>・16：9 デジタル放送で使用されている画面比率です。視聴している画面が横長に見えるときに選択してください。 |
| アスペクト比 | テレビの視聴状況に合わせて、お好みで設定してください。<br><br>※リモコンの「画面サイズ」で切り換えることができます。<br>※一部の操作は「テレビ画面形状」設定にて「4:3」に設定したときのみ反映されます。 | ・フル　4：3 の画面をそのまま表示します。<br>・ズーム　画像の中心をズーム表示します。<br>・レターボックス　画面比率を 4：3 に設定したときに上下に黒帯を表示することで放送画面を全て表示します。<br>・ピラーボックス　画面比率を 16：3 に設定したときに左右に黒帯を表示することで放送画面を全て表示します。 |

| 項　目 | 設定内容 | 選択項目・操作方法 |
|---|---|---|
| DNR | DNR（デジタルノイズリダクション）<br>放送波に混信するノイズを、デジタル処理で取り除く設定です。<br>受信状況に合わせて設定してください。 | デジタル処理の頻度を設定します。<br>OFF：処理を行いません。<br>低：処理頻度を低に設定します。<br>中：処理頻度を中に設定します。<br>高：処理頻度を高に設定します。<br>上下ボタンで選択、決定ボタンで設定します。 |
| HDMI<br>映像出力切換 | HDMI ケーブル等でテレビと接続したときの映像出力を設定します。<br>AV ケーブルでテレビと接続した場合は「480i」に設定されます。使用状況に合わせて設定を変更してください。 | 480i：AV ケーブル接続時<br>480p/720p：D 端子ケーブル接続など<br>1080i：HDMI ケーブル接続時<br>上下ボタンで選択、決定ボタンで設定します。 |

※字幕：番組に沿った字幕を表示する放送サービスです。例・ナレーションなど
映画などで表示される翻訳字幕とは異なります。

※文字スーパー：番組とは違う内容の字幕を表示する放送サービスです。例・番組情報など

※ DNR（デジタルノイズリダクション）は内部処理を行うため、ノイズの無い状況で処理を行うように設定をすると「音飛び」や「画面停止」などの症状が表れ、視聴状況が悪化する場合があります。

※ AV ケーブル接続時に HDMI ケーブルを接続して 480p ～ 1080i を設定すると、AV ケーブルで接続したテレビの入力切換画面が表示されず視聴できなくなります。AV ケーブル接続時には 480i で視聴してください。

## 機器設定

本機の機器設定を変更できます。

方向ボタン、決定ボタン、戻るボタンを使用して設定してください。

| 項　目 | 設定内容 | 選択項目・操作方法 |
|---|---|---|
| BS/CS アンテナ<br>電源供給 | BS/CS アンテナに電源を供給する / しないを設定できます。アンテナ自体に電源がある場合は「電源供給しない」、アンテナに電源が無い場合は「電源供給する」を選択してください。 | ・電源供給しない<br>・電源供給する<br><br>上下ボタンで選択、決定ボタンで設定します。 |
| 省エネ設定 | この項目を設定 / 変更することで、消費電力を抑えることができます。<br><br>オフタイマーはリモコンボタンから直接設定することもできます。<br>リモコンのオフタイマーボタンは押すたびに時間が切り換わります。 | ・無信号オフ　「有効」「無効」<br>有効：アンテナケーブルから信号を受け取れない状況が一定時間経過すると自動で電源が切れます。<br>・無操作オフ「有効」「無効」<br>有効：リモコンなどの操作が一定時間無い状況で一定時間経過すると自動で電源が切れます。<br>・オフタイマー 30・60・120・180 分<br>設定した時間が経過すると自動で電源が切れます。<br>方向ボタンで選択、決定ボタンで設定します。 |
| 言語設定 | 本機の各表示を英語 / 日本語に設定できます。 | ・English：各表示を英語にします。<br>・日本語：各表示を日本語にします。<br>上下ボタンで選択、決定ボタンで設定します。 |

| 項　目 | 設定内容 | 選択項目・操作方法 |
|---|---|---|
| システム情報 | 本機のシステム情報を表示します。 | ・B-CAS カード種別<br>・B-CAS カード ID<br>・型番（本製品型番号）<br>・ソフト（ウェア）バージョン<br>・MCU（ハードウェア）バージョン<br>戻るボタンで表示を終了してください。 |
| 設定の初期化 | 工場出荷時の状態に戻します。<br>注意）他に設定した項目も初期化されます。<br>ハードディスクは初期化されません。<br>暗証番号は初期化されません。 | ・「はい」：個人情報の初期化をおこないます。<br>・「いいえ」：1 つ前のメニューに戻ります。<br>左右ボタンで選択、決定ボタンで確定します。<br>→【P.23】本製品の初期化　を始めます。 |

※ BS/CS 電源供給を「する」に設定すると、本製品の消費電力が高くなります。電源を供給しなくても視聴ができる場合は「しない」に設定してください。アンテナの取扱説明書も合わせて参照してください。

※地上デジタル放送用の端子には電源供給機能はありません。

※省エネ設定は一定時間経過したときに電源が自動で切れて待機状態になることで、電源が入りっぱなしの時に比べて消費電力を抑えられるということから「省エネ」という表記になっています。
この設定をすることで、通常使用しているときの電力が抑えられるわけではありません。

※設定の初期化を行い、再起動が終るまで AC アダプターを抜かないでください。
再起動の間に何らかの理由で電源が供給されなくなると、内部処理ができなくなり製品が破損してしまう可能性がありますのでご注意ください。

※録画中に初期化できません。録画を終了させてから初期化を行ってください。

## その他設定

暗証番号や視聴制限などの変更できます。

方向ボタン、決定ボタン、数字ボタン、戻るボタンを使用して設定してください。

| 項　目 | 設定内容 | 選択項目・操作方法 |
|---|---|---|
| 音声同期設定 | 視聴している画像と音声がずれている場合に調整してください。 | ・「0 ～ 5」 6 段階に調整できます。<br>上下ボタンで選択、決定ボタンで設定します。 |
| 暗証番号設定 | 視聴制限を変更するための暗証番号を設定することができます。<br>暗証番号の初期値は「００００」です。<br>暗証番号を変更すると、再設定するためには変更した暗証番号が必須になります。新しい暗証番号は忘れないようにしてください。 | ・「暗証番号を入力してください」：4 桁の暗証番号を数字ボタンで入力します。<br>・決定ボタンを押すと、新しい暗証番号の入力画面になります。新しい暗証番号を 2 回入力し、決定ボタンで設定してください。 |
| 視聴制限設定 | 視聴年齢制限のある番組を受信したときに、設定した年齢以下の場合は視聴ができなくなります。<br>※設定の初期化では初期化されません。 | ・4 ～ 19 歳、無制限<br>暗証番号を数字ボタンで入力して決定ボタンを押し、左右ボタンで年齢制限を選択して決定ボタンで設定してください。 |
| 光デジタル音声出力設定 | 出力先の機器に合わせて設定してください。接続する機器の取扱説明書を合わせてお読みください。 | ・PCM：Pulse Code Modulation<br>・AAC：Advanced Audio Coding<br>上下ボタンで選択、決定ボタンで設定します。 |
| 選局バナー表示時間 | チャンネル変更時や画面表示ボタンを押したときに表示される「チャンネル情報」を表示する時間の設定ができます。 | ・1 ～ 60 秒、持続（情報表示が消えません）<br>左右ボタンで選択、決定ボタンで設定します。 |

# デジタル放送の視聴・録画

地上デジタル、BS/110 度 CS デジタル放送の視聴、録画予約について説明しています。

## デジタル放送を視聴する

本製品では「地上デジタル」、「BS デジタル」、「110 度 CS デジタル」の 3 種類を受信することが可能です。これらを切り換えて視聴したり、データ放送、電子番組表（EPG）、字幕、番組情報などのデジタル放送の各種サービスを利用することができます。

### 地デジ、BS、CS を切り換える

リモコンの「地上 D」「BS」「CS」ボタンを押して、それぞれの放送に切り換えることができます。

参考 リモコンのボタンを確認する。【P.14】

**注意**【地上 /BS/110 度 CS デジタル放送の視聴について】

- 既存のアンテナ設備では、デジタル放送を受信できない場合があります。その場合は、デジタル放送対応アンテナを接続してください。
- アンテナの受信感度が低い場合はアンテナを調整して頂くか、もしくはデジタル放送対応のブースターで電波を増幅してください。
- 放送局の受信エリア内であっても、ご利用場所の電波受信状況によってはご視聴いただけない場合があります。（建物や地形などにより電波が遮られる場合など）
- 受信電波が不安定な場合、ブロックノイズが現れたり映像が途切れたりすることがあります。
- BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送の受信には、各デジタル放送に対応した衛星アンテナが必要です。
- 分配器やブースター等をご利用の場合は、各デジタル放送に対応した機器が必要です。
- BS や CS の有料放送を受信するには、各放送サービス会社との契約が必要です。

【ケーブルテレビ（CATV）の視聴について】

- ケーブルテレビ会社からの配信方式がパススルー方式であれば、本製品をご利用いただけます。
- 配信方式については、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- CATV を受信している時は電子番組表のデータが受信できない場合があります。CATV 会社にご確認ください。
（CATV 局側で放送局の電波を改変せずに再送信している場合は利用できます。）

## チャンネルを切り換える

### 1 直接チャンネルを選局する

デジタル放送視聴中にチャンネルを選局するには
・本体前面にある〔チャンネル〕ボタン　：チャンネルを順に選局する
・リモコンにある〔選局〕ボタン　：チャンネルを順に選局する
・リモコンにある〔数字〕ボタン　：チャンネルを直接選局する
・リモコンにある〔3 桁入力〕ボタン　：チャンネル番号で直接選局する
これらのボタンを操作することでチャンネルを切り換えることができます。

チャンネルが多いケーブルテレビや CS 放送では〔3 桁入力〕ボタンと数字ボタンを使用して、直接チャンネル番号を指定することで切り換えることもできます。

※マルチ編成チャンネル：同じ放送局で違う番組を標準画質で最大３つまで放送することがあります。この場合の選局方法は「チャンネルボタンを複数回押す」「選局ボタン」「3 桁入力ボタン」をお試しください。
同じ番組をマルチ編成チャンネルで放送していると、「チャンネルボタン」や「選局ボタン」を押して切り換えているはずなのに、同じ番組が放送されているように見えるのはこのためです。

※１つのチャンネルに複数の放送局が設定される場合があります。
この場合はメニュー内の「リモコン設定」（P.27）から設定 / 変更してください。

※録画中のチャンネル選局制限：地デジ録画中には他チャンネルの視聴が可能です。
BS/CS を録画中に、他の BS/CS 番組を視聴することはできません。

### 2 電子番組表（EPG）・裏番組ボタンを利用する

・〔番組表〕　電子番組表（EPG）視聴しているチャンネルの放送番組を表示します。
操作：左右ボタン～チャンネルを選択
上下ボタン～時間帯を選択
色ボタン～日付を選択　前日 ( 青 )、現在 ( 赤 )、翌日 ( 緑 )
決定ボタン～録画予約、視聴を選択

・〔裏番組〕　現在放送している番組をチャンネルリストのように一覧表示します。
操作：左右ボタン～裏番組一覧をページごとに切換
上下ボタン～チャンネル（放送局）を選択
決定ボタン～選択したチャンネル（放送局）を視聴
※地デジ G ガイドチャンネル：対応機器でのみ視聴可能なチャンネルです。

➔参考　リモコンのボタンを確認する。【P.14】

## d（データ）放送を利用する

d（データ）放送は、デジタル放送の便利な機能のひとつです。

リモコンの〔d〕ボタンを押すと、データ放送を画面に表示します。

・データ放送を行っていないときはボタンを押しても表示されません。
・本機にはネットワーク接続機能がありませんので双方向データ放送には対応していません。
・方向ボタン、決定ボタン、戻るボタン、カラー（青、赤、緑、黄）ボタンを画面表示に従い、必要に応じて使用してください。
・もう一度〔d〕ボタンを押すと、通常のテレビ放送に戻ります。

➔参考　リモコンのボタンを確認する。【P.14】

## 視聴中に様々な情報を表示する

デジタル放送視聴中にリモコンの画面表示ボタンを押すと、現在視聴しているチャンネル番号、番組名などが表示されます。この画面は「選局バナー表示時間」で設定した時間を表示すると元の画面に戻ります。
〔その他設定〕画面で設定していただくことで常に表示することもできます。
また、番組情報ボタンを押すことで番組の詳細を表示する事ができます。

①が表示されている間に再度、画面表示ボタンを押すと、②のようにチャンネル番号のみ表示されます。

➡参考 リモコンのボタンを確認する。【P.14】

## 視聴中に字幕を表示する

地上波デジタル視聴中にリモコンの［字幕］ボタンを押すと、放送番組の音声の字幕を表示することが出来ます。〔画質設定〕画面で設定していただくことで常に表示することもできます。

➡参考 リモコンのボタンを確認する。【P.14】
字幕・文字スーパーの表示。【P.28】

## 音声を切り換える

［音声切換］ボタンを押すことで、現在の音声情報が表示されます。
このボタンを押すたびに、切り換える音声がある場合には、最大８音声まで切り換えることができます。
また、二重音声番組の場合には、主音声➡副音声➡主／副音声の順に切り換わります。

➡参考 リモコンのボタンを確認する。【P.14】

## 音量を調整する

本機には音量を調整する機能がありません。音量を調整する場合は、音声を出力しているテレビやスピーカーなどの外部機器の音量（ボリューム）を調整してください。
マルチリモコンを設定すると、テレビの「音量 上⇔下」「消音」を使用することができます。

➡参考 マルチリモコンの設定をする。【P.48】

# デジタル放送を録画する

本製品は、内蔵ハードディスクへ録画できます。ほかにも市販のUSB2.0規格の新しいハードディスクやUSBフラッシュメモリー等を背面のUSB端子へ接続することで、 高画質のデジタル放送の番組をそのままのクオリティ（高品質）で録画することができます。

※録画中の視聴チャンネル操作には制限があります。詳しくはP.32を参照してください。
※録画したメディア（HDD、USBフラッシュメモリーなど）の取り扱いには制限があります。
　詳しくは下記と制限事項（P.4）を参照してください。
※録画メディア（HDD、USBフラッシュメモリなど）の容量が足りない場合には録画ができなかったり
　番組の途中で録画が終了します。残り容量を確認して録画してください。

## 現在視聴している番組を録画する（ダイレクト録画）

現在視聴している番組を番組の終了まで、または決められた時間単位で録画します。

リモコンの［●］（録画）ボタンを押してください。
現在視聴中の番組の録画を開始します。この場合の録画設定はメニューの〔録画機能設定〕で設定した「録画優先度」と「録画制限時間」の設定が適用されます。電子番組表から現在放送中の番組を選択して録画予約をおこなうと、その時点から「録画制限時間」で設定した終了時間まで録画を実行します。

※ ダイレクト録画をする前に「録画先HDD」を設定しなければならない場合があります。
　詳細は【P.45 ハードディスク録画の設定をする】を参照してください。

## 録画している番組を最初から視聴する（タイムシフト視聴機能）

現在録画している番組を視聴することができます。

録画リストを表示すると、現在録画中の番組には【REC】アイコンがあります。
再生を選択することで視聴することができます。

※ 録画開始から３０秒以上経過していないと再生できません。
※ 早送りや巻戻しを行う場合、その操作に必要な再生時間がない場合は操作できないことがあります。
※ 現在録画してる時間から約３０秒手前まで再生できます。
※ USBフラッシュメモリーなどのメディアでは「画像停止」や「音声が出ない」など、正常にタイムシフト機能が機能しない場合があります。タイムシフト機能はHDDへ録画中にお使いください。

## 予約録画、ダイレクト録画を停止する

予約録画・ダイレクト録画で録画中の番組を停止します。

録画を停止する場合は、リモコンの［●］（録画）ボタンを押す事で、録画を停止する確認メッセージが表示されます。「決定」を選ぶと録画は停止されます。

➜参考 リモコンのボタンを確認する。【P.14】
➜参考 電子番組表（EPG）を使用する。【P.35】
➜参考 ハードディスク録画を設定する。【P.45】

## 電子番組表（EPG）から番組を予約する

電子番組表から番組を選択して録画予約を設定するには、以下の手順でおこないます。

※録画メディア（HDD、USB フラッシュメモリなど）の容量が足りない場合には録画ができなかったり番組の途中で録画が終了します。残り容量を確認して録画してください。

参考 電子番組表（EPG）を使用する。【P.32】

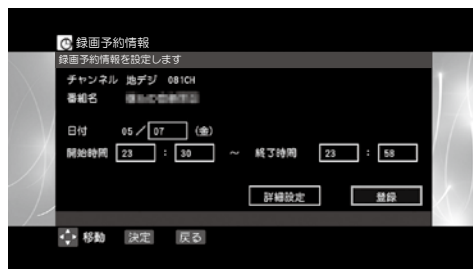
### 1

リモコンの番組表ボタンを押して、電子番組表を表示します。
予約録画をする番組を選択して、リモコンの決定ボタンを押してください。

### 2

番組の詳細情報が表示されます。
右下の〔録画予約〕が緑色に光っていることを確認して、リモコンの決定ボタンを押してください。

### 3

録画予約情報が表示されます。
初期状態の録画設定のまま録画をする場合は、このまま〔登録〕を選択してリモコンの決定ボタンを押してください。
予約条件を変更したい場合は、45 ページをご覧ください。

参考 ハードディスク録画を設定する。【P.45】

4

録画先のハードディスクを変更したり、録画条件を変更したい場合は〔詳細設定〕を選択して、リモコンの決定ボタンを押します。

この画面で方向ボタンと決定ボタンを用いて「予約の日時設定」 ができます。
1）設定したい「日」「開始時間」「終了時間」にカーソルを合わせて決定ボタンを押してください。
2）上下ボタンで日時の変更ができます。
※「日」の設定について：設定する日から 1 週間以内を限度に選択 / 設定してください。
1 週間以降の日付を設定することもできますが、編成（番組や時間）が変更する可能性があり、正常に予約録画ができない場合があります。

5

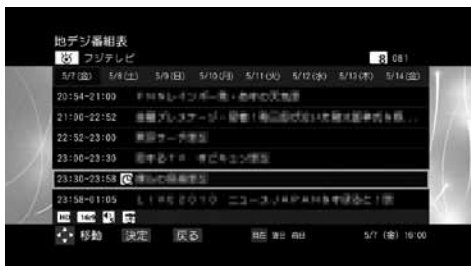
〔予約詳細設定〕の画面が表示されます。変更したい項目を設定してリモコンの決定ボタンを押します。

優先度　：番組の延長などで録画予約が重複した場合の優先度を設定します。

➜参考　録画予約の優先度を設定する。【P.37】

繰り返し：「毎日」、「毎週」、「月～木」、「月～金」、「月～土」、「なし」から繰り返して録画する設定を選べます。
番組追従：スポーツ番組などの番組延長を自動で番組終了まで録画します。
上記の繰り返し設定が「なし」のときのみ、番組追従設定が可能です。
保存先　：録画保存先のハードディスクを選択します。複数のハードディスクが接続・登録されている場合は「◀」「▶」ボタンで選択できます。

6

予約設定が完了すると、電子番組表の予約した番組欄には ◷ が表示されます。

## 録画予約の優先度を設定する

録画予約をしたスポーツ番組などの放送時間が延長し、他の録画予約と重複してしまった場合の録画優先度を設定します。

**⚠注意** ※ここではダイレクト録画時の基本設定として説明していますが、番組表録画をおこなう際の優先度設定（P.36）も設定内容と設定した結果は同じです。

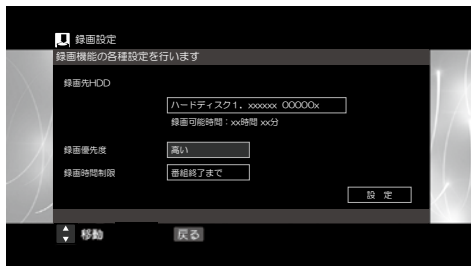
1

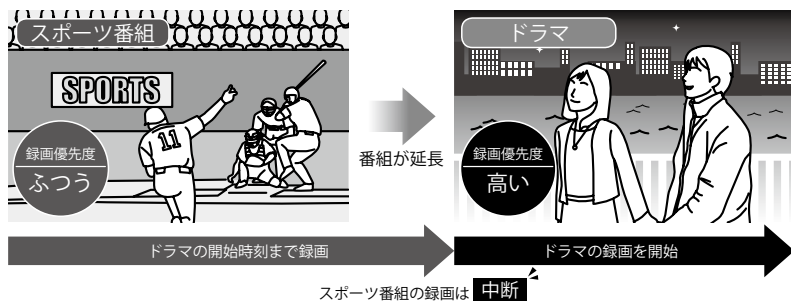
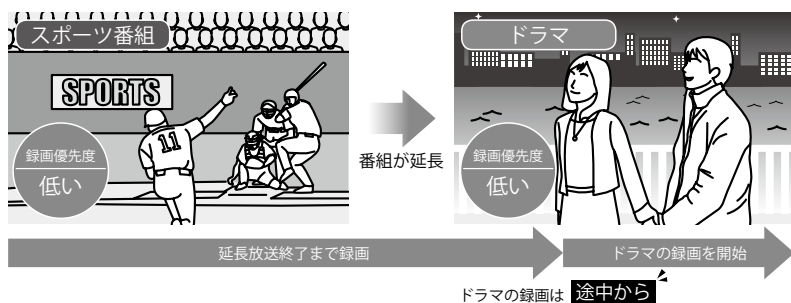
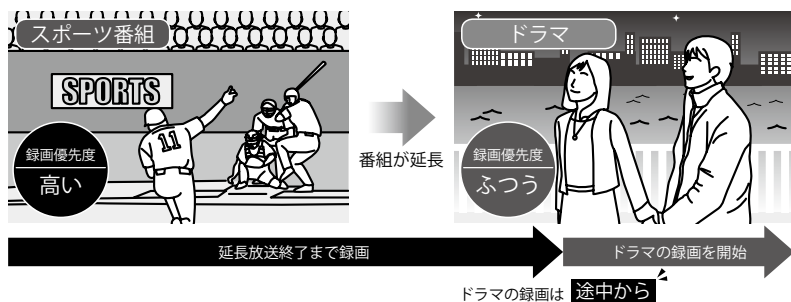
リモコンのメニューボタンを押して設定メニューを表示します。〔録画機能設定〕を選択して、リモコンの決定ボタンを押します。

2

〔録画機能設定〕メニューから〔録画設定〕を選択して、リモコンの決定ボタンを押します。
※録画中は選択 / 設定できません。

3

録画予約情報が表示されます。〔録画優先度〕を選択し、「低い」、「ふつう」、「高い」からダイレクト録画をおこなったときの録画優先度を選択します。

## 録画優先度の関係

例：スポーツ番組の後に他チャンネルのドラマの予約が入っていて、スポーツ番組が延長した場合

スポーツ番組の優先度が「ふつう」、ドラマの優先度が「高い」に設定してあった場合、スポーツ番組は、ドラマ録画開始時刻で録画を中断し、ドラマの録画を開始します。

スポーツ番組、ドラマの優先度が両方とも同じ優先度に設定してあった場合、現在録画中の番組を優先して、放送終了時間まで録画します。スポーツ番組を延長放送終了まで録画し、スポーツ番組録画終了後にドラマの録画を開始します。

スポーツ番組の優先度が「高い」、ドラマの優先度が「ふつう」に設定してあった場合、スポーツ番組を延長放送終了まで録画し、スポーツ番組録画終了後にドラマの録画を開始します。

## 予約した番組を取り消す

録画予約の取り消しをおこないます。

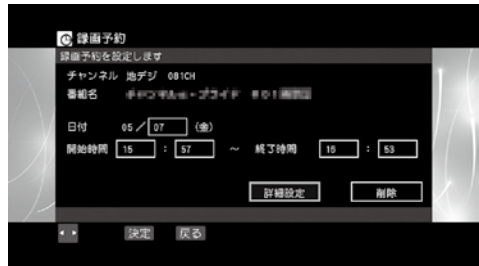
### 1

リモコンの「予約リスト」ボタンを押すか、メニューボタンを押して設定メニューから〔録画予約一覧〕を選択して、リモコンの決定ボタンを押します。

### 2

録画予約されている番組の一覧が表示されます。予約を取り消したい番組を選択して、リモコンの決定ボタンを押してください。

### 3

番組の録画予約情報が表示されます。予約を取り消す場合は､「削除」を選択して、リモコンの決定ボタンを押してください。

※この画面から詳細設定の変更はできません。詳細設定を変更する場合は、番組表から再度予約録画をやりなおしてください。

➜参考 電子番組表から番組を予約する。【P.35】

# 録画した番組を再生する

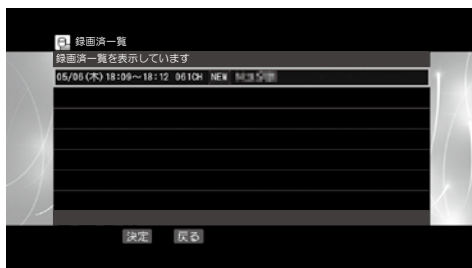
ハードディスクに録画した番組を選択して視聴します。

1

ハードディスクに録画した番組を視聴するにはリモコンの「録画リスト」ボタンを押すか「メニュー」ボタンを押して設定メニューから〔録画リスト〕を選択して、リモコンの決定ボタンを押します。

2

録画された番組の一覧が表示されます。視聴したい番組を選択して、リモコンの決定ボタンを押してください。※録画用ハードディスクが複数接続されている場合は、最初にハードディスク選択画面が表示されます。まず、再生したい番組を録画したハードディスクを選択してください。

3

選択した番組の〔録画済番組詳細〕が表示されます。「通常再生」「途中再生」のいずれかを選択してリモコンの決定ボタンを押してください。

通常再生：録画番組を最初から再生します。
途中再生：録画番組を以前停止した位置から再生します。
削除：録画番組を削除します。

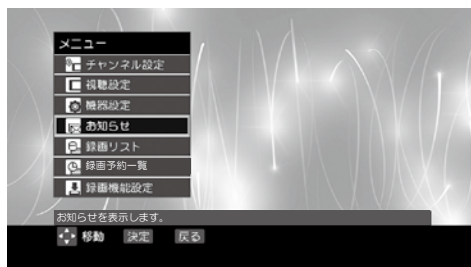
| ボタン | 操 作 |
|---|---|
| ▶▶ | 押すたびに 4 段階（2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍）の早送り再生をします。 |
| ◀◀ | 押すたびに 4 段階（2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍）の巻き戻し再生をします。 |
| ※早送り中、巻き戻し中に音声は出力されません。 | |
| 方向・右ボタン | 約 30 秒後の位置から再生をします。 |
| 方向・左ボタン | 約 30 秒前の位置から再生をします。 |

➜参考 リモコンのボタンを確認する。【P.14】

# お知らせを表示する

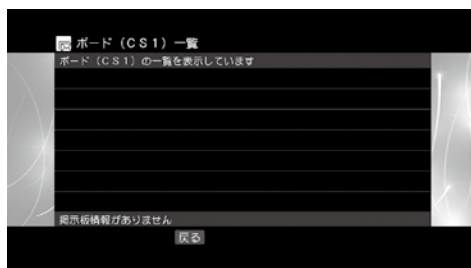
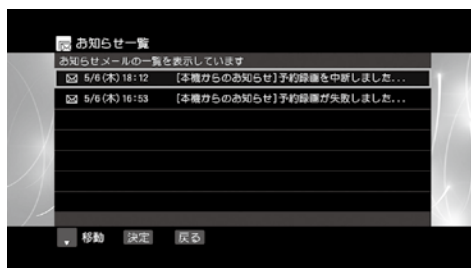
本製品のアップデート情報やエラー情報、110 度 CS 放送局などからのお知らせを表示します。
※予約や録画についてのエラー（録画ができなかった等）もここに表示されます。

## 1

リモコンのメニューボタンを押し設定メニューを表示します。〔お知らせ〕を選択して、リモコンの決定ボタンを押します。

## 2

〔本機に関するお知らせ〕
本製品からのアップデートやエラーなどのお知らせ

〔ボード（CS1）〕
〔ボード（CS2）〕
CS 放送局からのお知らせなど

いずれかを選択して、リモコンの決定ボタンを押しください。それぞれお知らせメールの一覧が表示されます。お知らせメールを選択してリモコンの決定ボタンを押すとお知らせメールの詳細が表示されます。

※お知らせメールは一定期間経過するまたはメッセージが多くなると古い物から削除されます。
※ここからメッセージを削除することはできません。

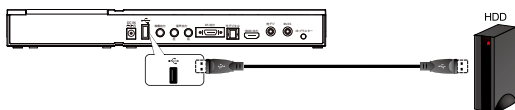
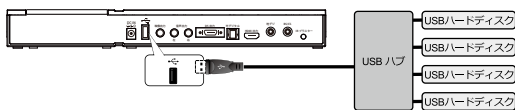
# 録画した番組・ハードディスクを管理する

本製品では、市販の USB2.0 規格のハードディスクを最大 7 台まで接続、6 台まで登録※して番組録画をおこなうことが可能です。また、ハードディスクを繋ぎ替えて使用する事で台数無制限でハードディスクに録画・再生をおこなうことができます。

※ 7 台を同時に使用する事はできません。使用できる同時最大数は 6 台です。残りの 1 台は、後述のように登録を切り換えての使用となります。
※内蔵ハードディスクは、接続しているハードディスクのうちの 1 台という扱いになっています。
内蔵ハードディスクを含めて最大 7 台まで接続、 6 台まで登録することができます。

**⚠注意** 本製品に登録したハードディスクは、 個別のハードウェアを識別する設定が施されます。
1 度登録したハードディスクは、本製品でのみ録画・再生が可能です。本製品を複数台使用する場合には、ハードディスクの同時共用はできません。
別機種で HDD 登録を行うにはハードディスクの初期化が必要となります。

## 新しいハードディスクを接続する

本製品の USB 端子に、市販の USB ハードディスク（USB2.0）を接続する事で、デジタル放送の番組を録画・視聴することができます。　※本機の初期設定時には接続しないでください。

USB ハードディスクを接続する

複数のハードディスクを使用する。【P.46】

**⚠注意**

- USB ハードディスクアクセス中（番組録画 / 再生中）に本製品からハードディスクを取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画や再生が正常におこなえなくなる事がありますのでご注意ください。
- USB ハードディスクにアクセスしていない状態であればそのまま取り外していただけます。
- 本製品に接続できるハードディスクの最大同時接続数は 6 台です。2 台以上の USB ハードディスクを使用するときは、市販の USB ハブに接続してから本製品の USB 端子に接続してお使いください。
- USB ハブは電力供給タイプのものを使用してください。バスパワータイプのものでは動作しない、もしくは動作が不安定になる場合があります。
- 本製品の初期設定時、またはファームウェアのアップデート時は、本製品に USB ハードディスクなどの機器を接続しないでください。
- パソコンで使用していた USB ハードディスクを接続して本機に登録すると、内部にあるデータはすべて消去されますのでご注意ください。
- 本機で USB ハードディスクの登録を行うと、USB ハードディスクは本機専用のフォーマットに初期化される為パソコンで使用することはできません。
- USB ハードディスクを使用する際は、必要に応じて「メニュー」内の「録画機能設定・HDD 設定 / 録画設定」の再設定を行ってください。
- 複数の USB ハードディスクを接続した状態で本機の電源を入れると、不特定の順番で登録がはじまります。
- 録画データは本製品でのみ再生できます。パソコンでは使用できません。
- 録画した番組は、複製（コピー）や移動（ムーブ）することはできません。

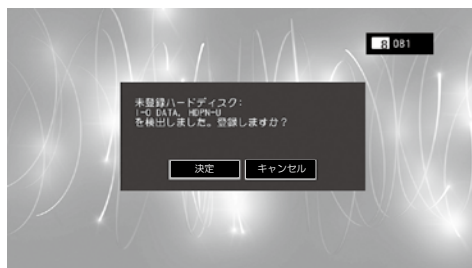
## 新しいハードディスクを登録する

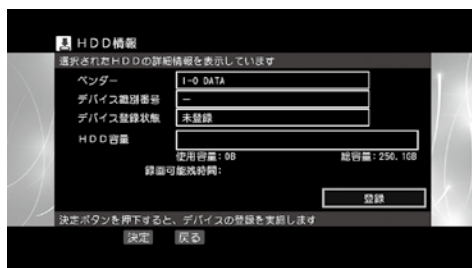
本書の P.42 を参照して、USB ハードディスクを正しく接続してください。本製品との接続が終わったら接続したハードディスクを本製品に登録します。登録がおこなわれていないハードディスクを使用することはできません。また、はじめて登録されるハードディスクは、本製品が登録時に初期化をおこないます。ハードディスク内のデータは全て消去されますのでご注意ください。

※一度本製品で初期化されたハードディスクは、他の機器による初期化をおこなわない限り、再度登録設定をおこなっても初期化されることはありません。例えば、本製品でハードディスクを登録後、本製品の設定を初期化してもハードディスクを再度登録設定をおこなえば、再び録画された番組を視聴したり、追加で録画をすることができます。

➔参考　本製品にハードディスクを接続する。【P.42】

### 1

未登録の新しいハードディスクを接続すると、右記のメッセージが表示されます。「決定」を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

### 2

ハードディスクの情報が表示されますので、リモコンの[決定]ボタンを押して登録作業を開始します。

※①の画面が消えた場合には、リモコンのメニューボタンを押して〔録画機能設定〕から〔HDD設定〕を選択し、接続されているハードディスクの一覧から新しく接続したハードディスクを選択することで登録することができます。

➔次へ
新しいハードディスクを登録する つづき【P.44】

### 3

ハードディスクが未フォーマットだった場合にはフォーマット画面が表示されますので、「開始」を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

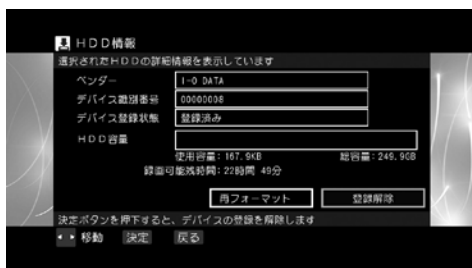
**⚠注意** ※フォーマットをおこなうとハードディスク内のデータは全て消去されますのでご注意ください。

### 4

フォーマットをおこないます。作業が完了するまでしばらくお待ちください。また、機器が破損する原因となりますのでフォーマット作業中は電源を切ったり、USB 機器を抜き差ししないでください。

### 5

フォーマットが完了すると自動でハードディスクの登録も完了します。リモコンの戻るボタンを押すとハードディスクの登録情報が表示されます。

※ここでは HDD を用いてフォーマットを説明していますが、USB フラッシュメモリーのフォーマットも同様におこなってください。

## ハードディスク録画の設定をする

本製品で予約録画をおこなったり、視聴中の番組を録画する場合の基本設定をおこないます。

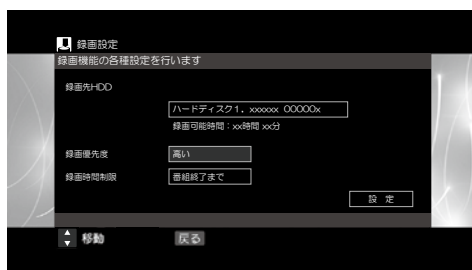
1

リモコンの録画設定ボタンを押して〔録画機能設定〕メニューを表示します。
メニューボタンから録画機能設定メニューを選択することでも設定できます。

2

〔録画機能設定〕メニューから〔録画設定〕を選択して、リモコンの決定ボタンを押します。

3

録画先のハードディスクを設定します。複数のハードディスクが接続・登録されている場合は「◀ ▶」ボタンで選択出来ます。
録画優先度設定は、視聴中の番組を録画する際の基本設定となります。

録画優先度：「低い」、「ふつう」、「高い」から選択します。
録画予約が番組の延長などで重複した場合の録画優先度を設定します。

➜参考　録画予約の優先度を設定する。【P.37】

録画時間：「番組終了まで」、「1 時間」、「2 時間」、「4 時間」、「6 時間」から選択します。

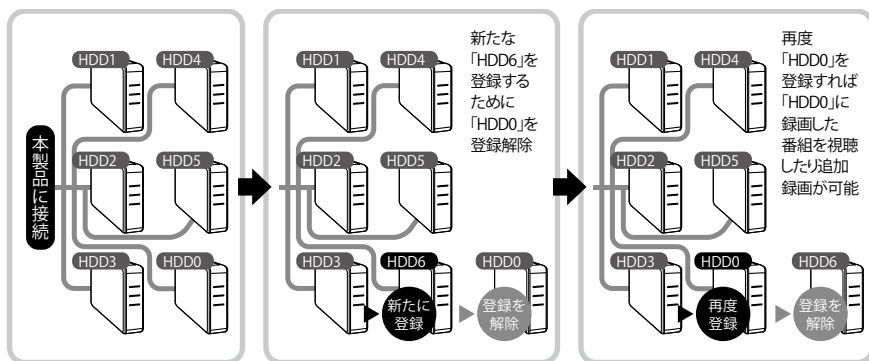
録画時間制限：視聴中に録画開始した場合、設定した時間で録画を終了します。「番組終了まで」を選択した場合は、電子番組表から取得した番組終了時間まで録画を続けます。

## 複数のハードディスクを使用する

録画・再生をおこなうには必ずハードディスクの登録が必要です。
背面の USB 端子へ記録メディアを差し込む・USB ハブを用いて複数台使用するなどの使い方をすることで記憶容量を増やし、さらに多くの番組を録画することができます。

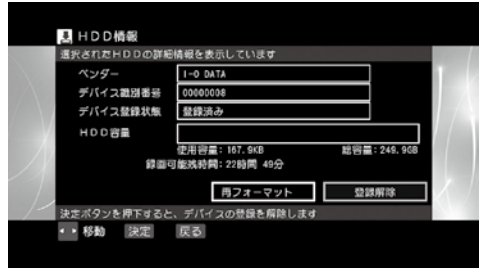
リモコンのメニューボタンを押して、〔録画機能設定〕から〔HDD設定〕を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押すことで、登録されているハードディスクの一覧を表示する事ができます。

一度登録をしたハードディスクは、登録を解除しても初期化をおこなわない限り内容が消去される事はありません。本製品のハードディスクの最大登録数は 6 台ですが、すでに登録されているハードディスクの登録を解除（P.47）して、別のハードディスクを登録して使用する事で 6 台以上のハードディスクを使用して録画・再生をおこなうことができます。

※ 出荷時に内蔵ハードディスクは、ハードディスク0に設定されています。
※ 設定から初期化を行うと、ハードディスクの再登録が行われることでハードディスクの順番が入れかわることがあります。これに伴い内蔵ハードディスクがハードディスク0ではなくなる事があります。

参考 新しいハードディスクを接続する。【P.42】

## ハードディスクの登録を解除する

登録されているハードディスクを解除して、別のハードディスクを登録出来るようにします。

〔HDD 一覧〕から登録を解除するハードディスクを選択し 決定 ボタンを押すと〔HDD 情報〕が表示されるので、「登録解除」を選択し、 決定 ボタンを押してください。ハードディスクの登録が解除されます。

⚠注意 ※ハードディスクの登録を解除しても、登録した機器以外で使用するにはハードディスクの初期化（再フォーマット）をおこなう必要があります。

## ハードディスク容量と録画可能時間

録画用ハードディスクの容量と録画可能時間の一覧です。

| HDD容量 | HD放送（BS等:最大24Mbps） | HD放送（地デジ等:最大20Mbps） | SD放送（最大8Mpbs） |
|---|---|---|---|
| 320GB | 約 28 時間 | 約 34 時間 | 約 84 時間 |
| 500GB | 約 44 時間 | 約 53 時間 | 約 131 時間 |
| 1.0TB | 約 88 時間 | 約 106 時間 | 約 262 時間 |
| 1.5TB | 約 132 時間 | 約 159 時間 | 約 393 時間 |

※録画可能時間はあくまで一般的な目安です。録画する番組や使用環境によって変動します。
※使用可能な HDD 容量が記載されている容量より少ない場合がありますが不具合ではありません。

## ハードディスク録画の制限事項

本製品でのハードディスク録画・再生には以下の制限があります。

【録画可能なデジタル放送】

- 地上デジタル➡全チャンネル
- BS デジタル（無料 / 公共放送（NHK BS デジタル））➡※[1] BS1、BS2
- BS デジタル（無料 / 無料放送（民間放送））➡※[1] BS3 ～ BS15
- BS デジタル（有料 /WOWOW）➡加入契約が必要
- BS デジタル（有料 / スターチャンネル）➡加入契約が必要
- 110 度 CS デジタル（スカパー !e2）➡加入契約が必要

※[1] 衛星放送契約が必要です。
※ 上記の放送でも番組毎にデジタルコピーが禁止されている番組は録画ができません。

【録画した番組の制限】

- 本製品は一般的なハードディスクレコーダーなどと異なり、複製（コピー）や移動（ムーブ）などはできません。
- 本製品で録画した番組は、録画をおこなった機器でのみ再生が可能です。

# 付録

便利な使用方法やトラブル時の対処方法、用語集、情報、チャンネル一覧等を記載しています。

## リモコンでテレビを操作できるように設定する（マルチリモコン）

付属リモコンでお持ちのテレビを操作することができるように設定します。
（マルチリモコン機能）この設定を行わなくても本機の操作はできます。

### 1

リモコンのテレビ電源ボタン［TV電源］を押したまま、下記の対応表からお使いのテレビのメーカー番号を 1 ～ 9、10/0 の数字ボタンで入力（3 桁）してください。

例：パナソニック製のテレビ（パナソニック 1）の場合
［TV電源］を押したまま［10/0］→［1］→［1］を押します

| メーカー | 番号 |
|---|---|
| TMY | 181/182 |
| パナソニック | 011/012/013 |
| シャープ | 021/022/023 |
| ソニー | 031/032 |
| 東芝 | 041/042 |
| 日立 | 051/052/053 |
| 三菱 | 061/062 |
| 三洋 | 071/072 |
| ビクター | 081/082/083 |
| NEC | 091/092 |
| パイオニア | 101 |
| 富士通ゼネラル | 111 |
| アイワ | 121/122/123 |
| DX アンテナ /FUNAI | 131/132/133/134/135 |
| SAMSUNG | 141 |
| LG | 151 |
| ORION | 161/162 |
| Philips | 171/172 |
| ZERO | 191 |
| CITIZEN | 201/202/203 |
| DAEWOO | 301/302 |

**⚠注意**

- ●メーカーによっては 2 個以上の設定番号があります。もし設定した番号で操作ができなかったり、一部の操作が違う場合には他の番号を設定してください。
- ●左記の表に無いメーカーについては操作できません。
- ●対応表にあるメーカーであっても、製品年式が古いまたは最新モデルのテレビでは操作できない場合がありますのでご了承ください。
- ●電池を入れ換えるとマルチリモコンの設定がリセットされることがあります。
その場合は再設定してください。
- ●マルチリモコン機能にて操作できるボタンは「TV 電源」「入力切換」「音量」「消音」です。これ以外のテレビ操作はできません。
- ●当社が製造したテレビにおいて一部対応していないものがあります。
【P.4 制限事項】を参照してください。

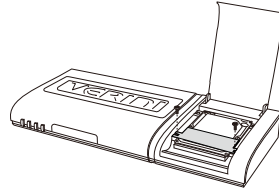
### 2

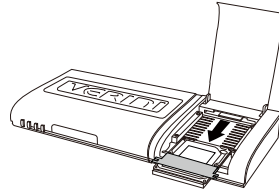
入力が終ったらテレビ電源ボタン［TV電源］から指を離してください。
テレビ操作用のリモコンボタンにメーカーボタンが割り当てられて、お使いのテレビが操作できるようになります。

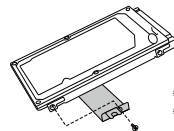
# ハードディスクドライブ（HDD）の交換について



本体右側のカバーの中へ内蔵ハードディスク（以下 HDD）が格納されています。HDD の容量を大きくするなど HDD を交換する必要がある場合には、下記の手順で交換してください。

カバーを開け、HDD を設置するための HDD ガイド（素材：プラスチック）についている右図の 2 本のネジをプラスドライバーで外してください。

2

HDD 接続端子から HDD ガイドと一緒に HDD を取り外します。
※ 端子部分を変形させないように注意して取り外してください。

3

HDD ガイドと HDD を接続している 2 本のネジをプラスドライバーで外して、HDD を HDD トレーから取り外してください。

4

取り外した手順と逆の手順で、新しい HDD を本製品へ取り付けてください。

※ 取り付け後、HDD フォーマットと HDD 録画設定を行うと使用できるようになります。
※ HDD の形状が著しく違うものについては取り付けできないことがあります。
※ 接続する端子形状が違う場合や、本製品製造時には無かった新しい規格の HDD では使用できない場合があります。
※プラスドライバーはサイズ 2 を使用してください。
※ HDD を設置するための HDD ガイドの素材はプラスチックを使用しています。
HDD ガイドが破損した場合にはケガをしないように注意してください。
※ HDD を交換するときは、HDD の金属部でケガをしないように注意してください。
※ HDD 端子部分の接続が硬い場合があります。無理な力を加えて HDD や HDD ガイドが破損したり、ケガをしないように 注意して交換してください。
※ HDD の仕様（端子部の形状等）をよく確認して取り付けてください。
詳細は P.58 の仕様をご覧ください。
※ お客様が交換して使用する HDD について、故障や破損をしても当社は一切の責任を負いません。

# エラーコード一覧

本製品で異常が起こった場合表示されるエラーコードの一覧です。

| エラー種別 | コード | メッセージ | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|---|---|
| 全般のエラー | E200 | 放送チャンネルではないため、視聴できません。 | 非放送番組を選局した場合 | 通常の放送チャンネルを選局してください。 |
| | E202 | 信号が受信できません。 | アンテナの接続に不具合がある、またはチャンネルの設定が合っていない場合 | アンテナの接続、およびチャンネルの設定が合っているか確認してください。 |
| | E203 | 現在放送されていません。 | 現在放送されていない、または放送休止中の場合 | 番組ガイドなどで放送時間を確認してください。 |
| | E209 | アンテナとの接続を確認してください。 | アンテナ線の芯線がショートしている場合<br>アンテナ線が外れている場合　など | アンテナ線を確認してください。 |
| | E210 | この受信機ではこのチャンネルは受信できません。 | 受信機に対応していないチャンネルを選局した場合 | このチャンネルはご覧いただけません。 |
| | A102<br>A104<br>A105<br>A106<br>A107<br>A1FF | この IC カードは使用できません。 | B-CAS カードが登録されていない場合 | この B-CAS カードは使用できません。B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。 |
| | EC01 | この IC カードは使用できません。正しい IC カードを装着してください。 | 無効な B-CAS カードが装着されている場合 | この B-CAS カードは使用きません。正しい IC カードを装着してください。 |
| | EC02 | この IC カードではご覧になることができません。 | カード ID が不正の B-CAS カードが挿入されている場合 | B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。 |

| エラー種別 | コード | メッセージ | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|---|---|
| 全般のエラー | 6400 | IC カードの交換が必要です。 | B-CAS カードが故障している、または交換が必要な場合 | B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。 |
| | ― | IC カードを正しく装着してください。 | B-CAS カードが挿入されていない場合 | B-CAS カードを正しく装着してください。 |
| | A103 | このチャンネルは契約されていません。 | 未契約の有料放送を選択した場合 | このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 |
| | 8901 | このチャンネルはご覧いただけません。 | 未契約の有料放送を選択した場合 | このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 |
| | 8902<br>8502<br>8302 | 契約期限が切れています。 | 契約期限が過ぎている有料放送の場合 | 契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 |
| | 8903<br>8503<br>8303 | このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 | 視聴が制限されているチャンネルの場合 | 視聴制限の設定を変更するか、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 |
| 視聴関連 | ― | このボタンにはチャンネルが割り当てられていません。 | リモコンのボタンにチャンネルが存在しない場合 | このチャンネル（ボタン）は、存在しません。 |
| | ― | 番組詳細情報を表示できません。 | 録画コンテンツの再生中に番組詳細を表示しようとした場合 | 録画コンテンツの再生中は、番組詳細は表示できません。 |
| | ― | 接続テレビ設定が 4：3 レターボックスの時に切り換えられます。 | 接続テレビ設定が 16：9 に設定されている場合 | 接続テレビ設定を 4：3 レターボックスに設定してから切り換えてください。 |
| | ― | 切り換えられる音声がありません。 | マルチ音声ではない番組の場合 | この番組は音声を切り換えることができません。 |

| エラー種別 | コード | メッセージ | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|---|---|
| | — | 録画中のため表示できません。 | 録画中に表示できない画面を選択した場合 | この画面は表示できません。<br>表示する場合は、録画を停止してから切り換えてください。 |
| | — | 出力先ＨＤＤが満杯のため録画ができません。 | 録画の出力先に設定されている HDD の容量が満杯の場合 | HDD にある録画済みコンテンツを消してから録画してください。<br>または、別の HDD を接続して出力先を変更してから録画してください。 |
| | — | 録画先のＨＤＤが設定されていません。 | 録画の出力先が設定されていない時に録画をしようとした場合 | " 録画先設定 " にて出力先の HDD を設定してください。 |
| | — | エラーが発生したため録画が開始出来ませんでした。 | 何かしらの要因により、録画が出来なかった場合 | 弊社サポートセンターへお問い合わせください。 |
| | — | 時間が重複した予約があります。録画優先度を確認してください。 | 即時録画にて録画を開始した際に、時間の重なる登録済みの予約録画がある場合 | 即時録画の録画時間と重複する録画予約情報が存在します。重複している時刻に達した場合、優先度に準じて録画が実施または中断されますので、" 録画予約情報 " から各々の優先度をご確認ください。 |

## 困ったときは

本製品のご使用上で良くあるトラブルの事例と対処方法を記載しています。

| 症　状 | 原　因 | 対　策 |
|---|---|---|
| 電源が入らない | AC アダプターがコンセントまたは本体から外れている。 | AC アダプターをコンセントへ、電源端子部分を本体へ接続してください。 |
| | 内部処理中（橙 LED 点滅状態） | 点滅が終るまでお待ちください。 |
| | 「TV 電源」ボタンを押している。 | 左上にある「丸い電源ボタン」を押してください。 |
| | マルチリモコンの設定をしていない。 | テレビの電源を操作するためにはマルチリモコンの設定が必要です。 |

| 症　状 | 原　因 | 対　策 |
|---|---|---|
| 映像や音声が出ない | AV ケーブルで接続している場合に HDMI 映像出力切換を 480i 以外に設定した。 | AV ケーブルで接続して使用する場合は、HDMI 映像出力切換を 480i に設定してください。 |
| | テレビの接続が間違っている。 | 接続コードの接続を確認して正しく接続してください。 |
| | テレビの外部入力を正しく選択していない。 | テレビの入力切換を「ビデオ」にするなど、本製品を接続した入力を選択してください。 |
| | テレビのミュート ( 消音 ) が有効になっている。 | テレビリモコンまたはマルチリモコンを設定してから［消音］ボタンを押して消音機能を無効にしてください。<br>テレビの消音機能を無効にするには、テレビの取扱説明書を参照してください。 |
| リモコンで操作できない | 電池が入っていない。 | 電池をリモコンにセットしてください。 |
| | 電池の入れ方が間違っている。 | 電池の極性（+、－）を確認して、正しく入れてください。 |
| | リモコンをテレビに向けている。 | リモコンは本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。 |
| | リモコンと本製品の間に障害物がある。 | 障害物をなくすか、避けてお使いください。 |
| | リモコンと本製品の間隔が遠い。 | リモコンを本製品に近づけて操作してください。 |
| 動作がおかしい | テレビのリンク機能に反応している。 | 接続しているテレビのリンク機能を停止してください。 |
| テレビで見たとき端（外周部）の映像がカットされている、もしくは映像がずれて見える | 一般的にテレビは映像信号の外周部を少しカットして表示するオーバースキャン表示方式を使用しています。<br>テレビによってカットする量に差があり、テレビによっては映像の端 ( 外周部 ) がカットされて見えたり、左右または上下にずれて見えることがあります。 | |
| BS 放送・110 度 CS 放送が視聴出来ない | BS・110 度 CS アンテナが接続されていない。 | BS・110 度 CS 放送を受信するには専用アンテナが必要となります。また、マンションなどの地上波デジタル /BS・110 度 CS 混合アンテナの場合は別途「BS/U･V 分波器」が必要となります。 |
| | 加入契約をおこなっていない。 | BS 放送の一部（WOWOW など）と 110 度 CS 放送の視聴には加入契約が必要となります。また、BS 放送の受信には別途「衛星放送契約」が必要となります。 |
| 録画が出来ない | HDD の空き容量が無くなった。 | 空き容量のある新しいハードディスクを接続するか、録画されている番組を削除してハードディスクの空き容量を増やしてください。 |
| | 番組がデジタル録画禁止になっている。 | 番組によってはデジタル録画が禁止されているものがあります。その場合は番組の録画はできません。 |

## ファームウェアをアップグレードする

本製品は USB メモリーと PC を使って最新のファームウェアにアップグレードすることができます。

**⚠注意** ※ファームウェアをアップグレードするときは、TV/ モニターを除く録画用のハードディスクなどの外部機器をすべて外した状態でおこなってください。
※ファームウェアはインターネットよりダウンロードしていただく必要があります。インターネットに接続されている PC と USB メモリーが必ず必要となります。

1

はじめに、最新のファームウェアをインターネットからダウンロードしていただくために、インターネットに接続している PC と USB メモリーをご用意ください。

**⚠注意** ※アップグレードに使用する USB メモリーは 512MB 以上の容量のもので FAT16/FAT32 のいずれかでフォーマットされている必要があります。詳しくはご利用になる USB メモリーの取扱説明書をご確認ください。

2

下記のサイトに接続してファームウェアをダウンロードしてください。

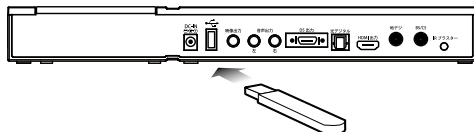
**www.tmy2000.com/support/support.html**

サイトに接続後、「ダウンロード」タブをクリックし本製品を選択して、最新のファームウェアをダウンロードしてください。

ダウンロードしたファームウェアを用意した USB メモリーに保存します。

※アップグレードをする必要が無い場合は、サイトへ接続してもダウンロードするファームウェアはありません。最新のアップグレード・ファームウェアが用意されるまでお待ちください。

3

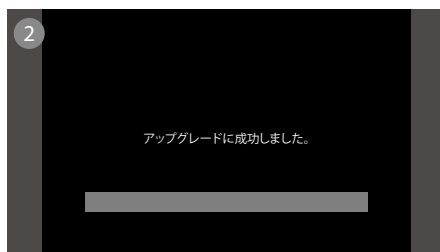
本製品の電源から AC アダプターを抜き、完全に電源を切断します。
背面の USB 端子にファームウェアを保存した USB メモリーを接続し、AV ケーブルでテレビと接続していることを確認して、再度電源を入れてください。

ファームウェアを入れた USB メモリー

**➜参考** 本製品の各部の名前と機能【P.12】

4

電源を入れて、画面が表示される前に「ｄボタン」を〔連打〕してください。（約１０秒間）
正常にアップグレードが始まった場合は①の画面が表示されます。
画面が表示されたら、ボタンから手を離してください。

5

②の「アップグレードに成功しました」という画面が表示されましたら USB メモリーを抜いて、電源端子から AC アダプターを抜いて完全に電源を切断してください。

6

再度、AC アダプターを電源端子に接続して電源を入れてください。
アップグレードされたファームウェアで動作するようになります。

⚠注意

※ｄボタンを連打：電源を接続（画面に何も表示されていない状態）してからすぐに連打してください。約 10 秒ほどでアップグレード画面が表示されますが、その前に連打を止めると通常起動されてしまう場合があります。

※ｄボタンを連打：長押し（押しっぱなし）ではありません。1 秒間に 2 回ほどのペースでｄボタンの連打をつづけてください。

※ダウンロードしたファームウェアが、製品にインストールされている物と同じ場合はｄボタンを連打してもアップグレードの画面は表示されずに通常起動します。

※ HDMI で接続・視聴していると、①の画面が表示されない場合があります。
アップグレード時には必ず【AV ケーブル】でテレビと接続してください。

※アップグレード時には電源を切らないでください。もし電源が切れてしまうと製品が故障してしまう可能性があります。

## 地上デジタル放送チャンネル一覧

地上波デジタル放送のチャンネル一覧です。
受信レベルやチャンネルスキャンの結果を確認する際の参考にお使いください。

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|---|---|---|
| 北海道(北見) | 1 | HBC 北見 |
| | 2 | NHK 教育・北見 |
| | 3 | NHK 総合・北見 |
| | 5 | STV 北見 |
| | 6 | HTB 北見 |
| | 7 | TVH 北見 |
| | 8 | UHB 北見 |
| 北海道(旭川) | 1 | HBC 旭川 |
| | 2 | NHK 教育・旭川 |
| | 3 | NHK 総合・旭川 |
| | 5 | STV 旭川 |
| | 6 | HTB 旭川 |
| | 7 | TVH 旭川 |
| | 8 | UHB 旭川 |
| 北海道(釧路) | 1 | HBC 釧路 |
| | 2 | NHK 教育・釧路 |
| | 3 | NHK 総合・釧路 |
| | 5 | STV 釧路 |
| | 6 | HTB 釧路 |
| | 7 | TVH 釧路 |
| | 8 | UHB 釧路 |
| 北海道(帯広) | 1 | HBC 帯広 |
| | 2 | NHK 教育・帯広 |
| | 3 | NHK 総合・帯広 |
| | 5 | STV 帯広 |
| | 6 | HTB 帯広 |
| | 7 | TVH 帯広 |
| | 8 | UHB 帯広 |
| 北海道(札幌) | 1 | HBC 札幌 |
| | 2 | NHK 教育・札幌 |
| | 3 | NHK 総合・札幌 |
| | 5 | STV 札幌 |
| | 6 | HTB 札幌 |
| | 7 | TVH 札幌 |
| | 8 | UHB 札幌 |
| 北海道(室蘭) | 1 | HBC 室蘭 |
| | 2 | NHK 教育・室蘭 |
| | 3 | NHK 総合・室蘭 |
| | 5 | STV 室蘭 |
| | 6 | HTB 室蘭 |
| | 7 | TVH 室蘭 |
| | 8 | UHB 室蘭 |

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|---|---|---|
| 北海道(函館) | 1 | HBC 函館 |
| | 2 | NHK 教育・函館 |
| | 3 | NHK 総合・函館 |
| | 5 | STV 函館 |
| | 6 | HTB 函館 |
| | 7 | TVH 函館 |
| | 8 | UHB 函館 |
| 青森 | 1 | RAB 青森放送 |
| | 2 | NHK 教育・青森 |
| | 3 | NHK 総合・青森 |
| | 5 | 青森朝日放送 |
| | 6 | ATV 青森テレビ |
| 岩手 | 1 | NHK 総合・盛岡 |
| | 2 | NHK 教育・盛岡 |
| | 4 | テレビ岩手 |
| | 5 | IAT 岩手朝日テレビ |
| | 6 | IBC 岩手放送 |
| | 8 | 岩手めんこいテレビ |
| 宮城 | 1 | TBC テレビ |
| | 2 | NHK 教育・仙台 |
| | 3 | NHK 総合・仙台 |
| | 4 | ミヤギテレビ |
| | 5 | KHB 東日本放送 |
| | 8 | 仙台放送 |
| 秋田 | 1 | NHK 総合・秋田 |
| | 2 | NHK 教育・秋田 |
| | 4 | ABS 秋田放送 |
| | 5 | AAB 秋田朝日放送 |
| | 8 | AKT 秋田テレビ |
| 山形 | 1 | NHK 総合・山形 |
| | 2 | NHK 教育・山形 |
| | 4 | YBC 山形放送 |
| | 5 | YTS 山形テレビ |
| | 6 | テレビユー山形 |
| | 8 | さくらんぼテレビ |
| 福島 | 1 | NHK 総合・福島 |
| | 2 | NHK 教育・福島 |
| | 4 | FCT 福島中央テレビ |
| | 5 | KFB 福島放送 |
| | 6 | テレビユー福島 |
| | 8 | 福島テレビ |

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|---|---|---|
| 千葉 | 1 | NHK 総合・東京 |
| | 2 | NHK 教育・東京 |
| | 3 | チバテレビ |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 6 | TBS |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 8 | フジテレビ |
| | 12 | 放送大学 |
| 茨城 | 1 | NHK 総合・水戸 |
| | 2 | NHK 教育・東京 |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 6 | TBS |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 8 | フジテレビ |
| | 12 | 放送大学 |
| 栃木 | 1 | NHK 総合・東京 |
| | 2 | NHK 教育・東京 |
| | 3 | とちぎテレビ |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 6 | TBS |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 8 | フジテレビ |
| | 12 | 放送大学 |
| 群馬 | 1 | NHK 総合・東京 |
| | 2 | NHK 教育・東京 |
| | 3 | 群馬テレビ |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 6 | TBS |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 8 | フジテレビ |
| | 12 | 放送大学 |
| 埼玉 | 1 | NHK 総合・東京 |
| | 2 | NHK 教育・東京 |
| | 3 | テレ玉 |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 6 | TBS |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 8 | フジテレビ |
| | 12 | 放送大学 |

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|---|---|---|
| 東京 | 1 | NHK 総合・東京 |
| | 2 | NHK 教育・東京 |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 6 | TBS |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 8 | フジテレビ |
| | 9 | TOKYO MX |
| | 12 | 放送大学 |
| 神奈川 | 1 | NHK 総合・東京 |
| | 2 | NHK 教育・東京 |
| | 3 | tvk |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 6 | TBS |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 8 | フジテレビ |
| | 12 | 放送大学 |
| 山梨 | 1 | NHK 総合・甲府 |
| | 2 | NHK 教育・甲府 |
| | 4 | YBS 山梨放送 |
| | 6 | UTY |
| 新潟 | 1 | NHK 総合・新潟 |
| | 2 | NHK 教育・新潟 |
| | 4 | TeNY テレビ新潟 |
| | 5 | UX 新潟テレビ 21 |
| | 6 | BSN 新潟放送 |
| | 8 | NST 新潟総合テレビ |
| 長野 | 1 | NHK 総合・長野 |
| | 2 | NHK 教育・長野 |
| | 4 | テレビ信州 |
| | 5 | abn 長野朝日放送 |
| | 6 | SBC 信越放送 |
| | 8 | NBS 長野放送 |
| 富山 | 1 | KNB 北日本放送 |
| | 2 | NHK 教育・富山 |
| | 3 | NHK 総合・富山 |
| | 6 | チューリップテレビ |
| | 8 | BBT 富山テレビ |
| 福井 | 1 | NHK 総合・福井 |
| | 2 | NHK 教育・福井 |
| | 7 | FBC 福井放送 |
| | 8 | 福井テレビ |

●地上デジタル放送のチャンネルを、地域別に表示してあります。他地域の放送を受信した場合、チャンネルと放送局名が異なることがあります。

●地上デジタル放送はリモコンの［1］～［12］のボタンで直接選局できます。
（P.23 の「初期設定」を実施すると、数字ボタンにチャンネルが割り当てられます）

●地上デジタル放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されることがあります。

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|---|---|---|
| 石川 | 1 | NHK 総合・金沢 |
| | 2 | NHK 教育・金沢 |
| | 4 | テレビ金沢 |
| | 5 | 北陸朝日放送 |
| | 6 | MRO 北陸テレビ |
| | 8 | 石川テレビ |
| 静岡 | 1 | NHK 総合・静岡 |
| | 2 | NHK 教育・静岡 |
| | 4 | 静岡第一テレビ |
| | 5 | あさひテレビ |
| | 6 | SBS 静岡放送 |
| | 8 | テレビ静岡 |
| 愛知 | 1 | 東海テレビ |
| | 2 | NHK 教育・名古屋 |
| | 3 | NHK 総合・名古屋 |
| | 4 | 中京テレビ |
| | 5 | CBC |
| | 6 | メ～テレ |
| | 10 | テレビ愛知 |
| 岐阜 | 1 | 東海テレビ |
| | 2 | NHK 教育・名古屋 |
| | 3 | NHK 総合・岐阜 |
| | 4 | 中京テレビ |
| | 5 | CBC |
| | 6 | メ～テレ |
| | 8 | 岐阜テレビ |
| 三重 | 1 | 東海テレビ |
| | 2 | NHK 教育・名古屋 |
| | 3 | NHK 総合・津 |
| | 4 | 中京テレビ |
| | 5 | CBC |
| | 6 | メ～テレ |
| | 7 | 三重テレビ |
| 滋賀 | 1 | NHK 総合・大津 |
| | 2 | NHK 教育・大阪 |
| | 3 | BBC びわ湖放送 |
| | 4 | MBS 毎日放送 |
| | 6 | ABC テレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 10 | よみうりテレビ |

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|---|---|---|
| 京都 | 1 | NHK 総合・京都 |
| | 2 | NHK 教育・大阪 |
| | 4 | MBS 毎日放送 |
| | 5 | KBS 京都 |
| | 6 | ABC テレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 10 | よみうりテレビ |
| 大阪 | 1 | NHK 総合・大阪 |
| | 2 | NHK 教育・大阪 |
| | 4 | MBS 毎日放送 |
| | 6 | ABC テレビ |
| | 7 | テレビ大阪 |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 10 | よみうりテレビ |
| 兵庫 | 1 | NHK 総合・神戸 |
| | 2 | NHK 教育・大阪 |
| | 3 | サンテレビ |
| | 4 | MBS 毎日放送 |
| | 6 | ABC テレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 10 | よみうりテレビ |
| 奈良 | 1 | NHK 総合・奈良 |
| | 2 | NHK 教育・大阪 |
| | 4 | MBS 毎日放送 |
| | 6 | ABC テレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 9 | 奈良テレビ放送 |
| | 10 | よみうりテレビ |
| 和歌山 | 1 | NHK 総合・和歌山 |
| | 2 | NHK 教育・大阪 |
| | 4 | MBS 毎日放送 |
| | 5 | テレビ和歌山 |
| | 6 | ABC テレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 10 | よみうりテレビ |
| 鳥取 | 1 | 日本海テレビ |
| | 2 | NHK 教育・鳥取 |
| | 3 | NHK 総合・鳥取 |
| | 6 | BSS 山陰放送 |
| | 8 | 山陰中央テレビ |

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|---|---|---|
| 島根 | 1 | 日本海テレビ |
| | 2 | NHK 教育・松江 |
| | 3 | NHK 総合・松江 |
| | 6 | BSS 山陰放送 |
| | 8 | 山陰中央テレビ |
| 岡山 | 1 | NHK 総合・岡山 |
| | 2 | NHK 教育・岡山 |
| | 4 | RNC 西日本放送 |
| | 5 | KSB 瀬戸内海放送 |
| | 6 | RSK テレビ |
| | 7 | テレビせとうち |
| | 8 | OHK 岡山放送 |
| 広島 | 1 | NHK 総合・広島 |
| | 2 | NHK 教育・広島 |
| | 3 | RCC 中国放送 |
| | 4 | 広島テレビ |
| | 5 | 広島ホームテレビ |
| | 8 | TSS テレビ新広島 |
| 山口 | 1 | NHK 総合・山口 |
| | 2 | NHK 教育・山口 |
| | 3 | tys テレビ山口 |
| | 4 | KRY 山口放送 |
| | 5 | yab 山口朝日放送 |
| 高知 | 1 | NHK 総合・高知 |
| | 2 | NHK 教育・高知 |
| | 4 | 高知放送 |
| | 6 | テレビ高知 |
| | 8 | さんさんテレビ |
| 徳島 | 1 | 四国放送 |
| | 2 | NHK 教育・徳島 |
| | 3 | NHK 総合・徳島 |
| 香川 | 1 | NHK 総合・高松 |
| | 2 | NHK 教育・高松 |
| | 4 | RNC 西日本放送 |
| | 5 | KSB 瀬戸内海放送 |
| | 6 | RSK テレビ |
| | 7 | テレビせとうち |
| | 8 | OHK 岡山放送 |
| 愛媛 | 1 | NHK 総合・松山 |
| | 2 | NHK 教育・松山 |
| | 4 | 南海放送 |
| | 5 | 愛媛朝日テレビ |
| | 6 | あいテレビ |
| | 8 | テレビ愛媛 |

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|---|---|---|
| 福岡 | 1 | KBC 九州朝日放送 |
| | 2 | NHK 教育・福岡 |
| | 2 | NHK 教育・北九州 |
| | 3 | NHK 総合・福岡 |
| | 3 | NHK 総合・北九州 |
| | 4 | RKB 毎日放送 |
| | 5 | FBS 福岡放送 |
| | 7 | TVQ 九州放送 |
| | 8 | TNC テレビ西日本 |
| 佐賀 | 1 | NHK 総合・佐賀 |
| | 2 | NHK 教育・佐賀 |
| | 3 | STS サガテレビ |
| 長崎 | 1 | NHK 総合・長崎 |
| | 2 | NHK 教育・長崎 |
| | 3 | NBC 長崎放送 |
| | 4 | NIB 長崎国際テレビ |
| | 5 | NCC 長崎文化放送 |
| | 8 | KTN テレビ長崎 |
| 熊本 | 1 | NHK 総合・熊本 |
| | 2 | NHK 教育・熊本 |
| | 3 | RKK 熊本放送 |
| | 4 | KKT くまもと県民 |
| | 5 | KAB 熊本朝日放送 |
| | 8 | TKU テレビ熊本 |
| 大分 | 1 | NHK 総合・大分 |
| | 2 | NHK 教育・大分 |
| | 3 | OBS 大分放送 |
| | 4 | TOS テレビ大分 |
| | 5 | OAB 大分朝日放送 |
| 宮崎 | 1 | NHK 総合・宮崎 |
| | 2 | NHK 教育・宮崎 |
| | 3 | UMK テレビ宮崎 |
| | 6 | MRT 宮崎放送 |
| 鹿児島 | 1 | MBC 南日本放送 |
| | 2 | NHK 教育・鹿児島 |
| | 3 | NHK 総合・鹿児島 |
| | 4 | KYT 鹿児島読売 TV |
| | 5 | KKB 鹿児島放送 |
| | 8 | KTS 鹿児島テレビ |
| 沖縄 | 1 | NHK 総合・那覇 |
| | 2 | NHK 教育・那覇 |
| | 3 | RBC 琉球放送 |
| | 5 | QAB 琉球朝日放送 |
| | 8 | OTV 沖縄テレビ放送 |

# 製品仕様

| 項　目 | 規　格 | |
|---|---|---|
| 本体サイズ | 約（幅）340 mm×（高さ）40 mm×（奥行き）150 mm　※突起物含まず | |
| 本体重量 | 約 680 g　※内蔵 HDD 含む | |
| 電源 | 入力電力 | DC12V 2.0A |
| | 消費電力 | 15W |
| | 待機電力 | 0.5W |
| | AC アダプター仕様 | INPUT:100 ～ 240V 0.6A / OUTPUT:12V 2.0A |
| チューナー機能 | 電子番組表 (EPG) | 約 7 日間 |
| | 地デジのみ録画中に他チャンネル視聴可能、字幕放送、緊急警報放送 EWS<br>データ放送（双方向 / ネットワーク機能なし） | |
| 受信チャンネル | 地上デジタル | VHF　1ch ～ 12ch |
| | | UHF　13ch ～ 62ch |
| | | CATV パススルー対応 |
| | BS デジタル | BS000ch ～ BS999ch |
| | 110 度 CS デジタル | CS000ch ～ CS999ch |
| 使用温度範囲 | | 5 ～ 35℃ |
| 使用湿度範囲 | | 20 ～ 80%（結露のないこと） |
| アンテナ入力端子 | 地上デジタル | F 型コネクタ　75 Ω　電源供給なし |
| | BS/110 度 CS デジタル | F 型コネクタ　75 Ω　電源供給選択可能 |
| 出力端子 | 映像 | 1 系統（ピンジャック） |
| | D4 映像 | 1 系統 |
| | 音声 | 1 系統（ピンジャック） |
| | 光デジタル音声 | 1 系統（角型）　PCM または AAC |
| | HDMI | TYPE-A 端子（Ver.1.3a） |
| 記録媒体 | USB 端子 | 1 端子（USB2.0） |
| | HDD | 2.5″/3.5″ USB-HDD ( 使用は AC アダプター付を推奨 ) |
| 付属品 | マルチリモコン、リモコン用単 4 形乾電池（動作確認用）× 2、<br>AC アダプター、AV ケーブル、B-CAS カード、取扱説明書、保証書 | |

| 内蔵 HDD | 規　格 |
|---|---|
| 本体サイズ | 約（幅）70 mm×（高さ）9 mm×（奥行き）100 mm |
| ディスク寸法 | 3.5 インチ |
| 重量 | 約 100 g |
| インターフェイス | シリアル ATA6.0　　※内蔵 HDD 交換時には本体サイズと端子形状をご確認ください。 |
| 容量 | 320GB |
| キャッシュ | 64MB |
| 回転数 | Intellpower |

## アフターサービスについて

本製品に異常があると思われたときには、まず P.52 の「困ったときは」をご覧ください。
それでも解決しないときは、下記サポートセンターにお問い合わせください。

➔参考 困ったときは【P.52】

## 製品に関するお問い合わせ

**株式会社 ティー・エム・ワイ**
**サポートセンター**
【受付時間】平日10:00～18:00
ナビダイヤル **0570-064-440**

*PHS/IP 電話等一部つながらないものがございます。予めご了承下さい。
* お問い合わせの際は、必ず以下の情報をご確認の上、お電話頂けますようご注意下さい。

01. 商品名または品番
02. 保証書の有無
03. 保証期間
04. お問い合わせ内容

【個人情報の取り扱いについて】

お客様からご提供いただいた個人情報は、修理や製品のお問い合わせなどのアフターサービスの目的以外には利用致しません。
またこれらの利用目的の達成に必要な範囲内での業務委託をする場合などを除き、お客様の同意なく第三者への提供、または第三者と共同して利用致しません。

TMY
amazing creation

株式会社 ティー・エム・ワイ



2012.03